

ひらかたししょうがいしゃけいかく だい じ かいていばん れい わ ね んど しんちよくじょうきよういちらん
枚方市障害者計画(第3次)改訂版の令和2年度進捗状況一覧

しりょう
資料1

※目標達成度合について

- ☆:最終目標を達成 ◎当該年度においては目標達成(事業継続中)
○:当該年度においては未達成だが目標達成に向けて進行継続中(達成に見込み有り)
△:課題があり、目標達成に向けて取り組みの見直し等が必要
▲:実現困難(達成の目的が立っておらず、次期計画で目標の見直しが必要) ×:事業未着手

1. 市民啓発及び地域との交流の推進

1 多様な啓発の推進

計画				令和2年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	目標達成度合	達成度合理的 理由
(1) 人権尊重の推進	人権政策 室	人権尊重のまちづくりへの総合的 取り組み	人権尊重の理念の浸透と 障害者への差別をば け、あらゆる差別の撤 廃に向け、啓発や学習を進 めていきます。	人権尊重のまちづくりを実現するために、枚方人権まちづくり協会へ委 託し、講座「生きたこと」、人権文化セミナー及び北朝鮮人権侵害問題 啓発週間事業を実施しました。なお、人権週間事業については、新型 コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。	○:当該年度に おいては未達成 だが目標達成に 向けて進行継続 中(達成に見込 み有り)	
	教育支援 室(児童 生徒支援 担当)			①人権教育担当者を対象に研修会を実施しました。 令和2(2020)年11月24日(火曜日) テーマ どの子どもともに育ちともに学ぶ学級づくり 講師 桃山学院教育大学 人間教育学部教授 松久 眞実 さん ②例年、地域人材等の活用による職業講話、職業体験等を通して生徒 が障害に関する理解を深めていますが、新型コロナウイルス感染症対 策のため、職業体験はありませんでした。 ③枚方市PTA協議会の中に子ども人権啓発委員会等を組織すると もに、家庭や地域との連携を深め、人権意識の高揚・啓発を積極的に 推進しました。	◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわがんねんんどじっせき 令和元年度実績		
しきくきほ 施策の基 んもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しきくめい 施策名	とく 取り組み	とく 取り組み内容	もくひょうたっせいどあい 目標達成度合い	たっせいどあいりゆ 達成度合理 う由
(1) 人権尊重の推進	じんじか 人事課	しよくいんけんしゅうじっし 職員研修の実施	しょうがい かん りかい ふか 障害に関する理解を深め るため、人権や障害に関 する職員研修を行いま す。また、手話研修など、 障害への認識を深める取 り組みを継続します。	しんにゆうしよくいん たいしょう けんしゅう 新入職員を対象とした研修において、障害者差別解消法に関する知識 習得のため、担当部署の職員より説明を受ける機会を設けました。(56 人参加) れいねん じっし くるまいす しかくしょうがい かた ゆうどう あんないほうほう 例年実施している車椅子や視覚障害のある方への誘導や案内方法の 体験研修、手話研修は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止とし ました。来年度以降、当該職員へ研修を実施する予定です。 また、本市の障害者活躍推進計画理解のため、当該計画の概要をま とめたeラーニング動画教材を作成し、全職員向けに閲覧の周知を行 いました。	とうがいねんど ◎: 当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	ふくしじむ 福祉事務 所(障害 福祉担 当)			しんにゆうしよくいん たい しょうがい かん りかいふか けんしゅう おこな 新入職員に対し、障害に関する理解を深めるための研修を行ったほ か、手話研修や外部研修への参加等を行い、障害への認識を深める 取り組みを実施しました。	とうがいねんど ◎: 当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	

計画				令和2年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	目標達成度合	達成度合理 理由
(2) 教育・啓 発・広 報活 動の推 進	きょういくし えん 教育支援 室(児童 生徒支援 担当)	しょうがいしゃ 障害者への理解 を深める教育	しょう ちゅうがっこう 小・中学校においては、学 ねん あ 年に合わせて、さまざまな しょうがい かん 障害に関する障害者理解 きょういく すず 教育を進めます。	さっし さくせい かつよう 〇冊子の作成・活用 ひらかたしじんけんきょういくけんしゅうかい こうえんろく ・「枚方市人権教育研修会講演録」 しりよう かつよう 〇資料の活用 じんけんきょういく おおさかふ きょういくいんかい ・「人権教育のための資料」(大阪府教育委員会) がっこう じんけんきょういくすいしん じれいしゅう おおさかふ きょういくいんかい ・「学校における人権教育推進のための事例集」(大阪府教育委員会) じんけんきょういく しどうじれいしゅう おおさかふ きょういくいんかい ・「人権基礎教育指導事例集」(大阪府教育委員会) じんけんきょういく しどうほうほう とう あ かつた だいいちじ ・「人権教育の指導方法等の在り方について」[第一次とりまとめ][第 いにじ だいさんじ じんけんきょういく しどうほうほう かん 二次とりまとめ][第三次とりまとめ](人権教育の指導方法等に関する ちようさけんきゅうかいぎ 調査研究会議) そだ まな しょうがいきょういく じゅうにつ おおさかふ きょういくいん ・「ともに学び、ともに育つ障害教育の充実のために」(大阪府教育委員 かい) せいしんしょう りかい ふかし おおさかふ きょういくいんかい ・「精神障がいについて理解を深めるために」(大阪府教育委員会) いちりつしょうちゅうがっこう しゅたいてき とりくみ 〇市立小中学校における主体的な取組 れいねん かき とお かく がっこう たいけんじっしゅう おこな れいわ ねんど 例年下記の通り、各学校で体験実習を行っています。令和2年度 りんじ きゅうこう じゅぎょうじすう かくほ しんがけた かんせんしよせんせんぼう は臨時休校による授業時数確保や新型コロナウイルス感染症感染防 し たいさく じっし たいけんじっしゅう がくしゅうかい 止対策のため、実施できなかった体験実習・学習会がありました。 しかくしょうがい しんたいしょうがい かん さんかたいけんがた けんしゅうかい ・視覚障害や身体障害に関する参加体験型の研修会(アイマスク体 いけんくるま たいけん じっし 験、車いす体験)の実施 もうどうけん かん こうわ じっし ・盲導犬に関する講話の実施 てんじ かくだいきょうかしよ しゅわ かん がくしゅうかい ほくじょう かん たいすんがくしゅう ・展示・拡大教科書や手話に関する学習会、白杖に関する体験学習の じっし 実施 ちいき しょうがいしゃ じゅさんしせつ こうりゅう じっし ・地域の障害者授産施設との交流の実施 おおさかふりつ しえんがっこう じどう・せいと きょじゅうち こうこうりゅう ・大阪府立支援学校の児童・生徒との居住地校交流	とうがいねんど ◎: 当該年度に おいては目標達 せい じぎょうけいぞくちゅう 成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
しきく きほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(2) 教育・啓 発・広 報活 動の推 進	こうほう 広報プロ モーショ ン課	じょうほうはっしん 情報発信	こうほう 広報ひらかたやホーム ページをはじめ、さまざま な媒体を通して、障害や しょうがいしゃ かん しょうがい しょうがいしゃ かん けいはつかつどう 障害者に関する啓発活動 および取り組みなどの情報 ひろ はっしん を広く発信していきます。	こうほう てんじ おんせい ていきよう おんせいよ あ か のう 広報ひらかたを点字・音声で提供しました。また、音声読み上げが可能 な多言語対応アプリを導入し、広報ひらかたを配信しました。 また、市のホームページについて、音声ガイドを設けるなど、ユニバー サルデザインの充実を図りました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	ふくしむしよ 福祉事務 所(障害 ふくした 福祉担 んとう 当)			かくしゆしんせいかんしよう こうしゅうかい こうしゅう しゅわこうしゅう 各種申請勸奨のほか、講習会(スポーツ講習、手話講習、ガイドヘル パー養成研修など)の開催などについての周知を、広報ひらかたや ホームページで行いました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	じんけんせいさく 人権政策 しつ 室	かいさい イベントの開催	しょうがい しょうがいしゃ り かい 障害や障害者への理解を うなが けいはつ 促すため、啓発イベントや キャンペーンを開催しま す。	しょうがいしゃ りかい およ にんしき ふか きかい 障害者への理解及び認識を深める機会として、 ○10月15日「生きること」(連続講座全4回の内の1回) 谷岡哲次さんによる講座 「娘が不治の難病と診断されました～「レット症候群」をご存じです か」を開催しました。 また、平和の燈火実行委員会が、市テーマソング「この街が好き」の手 わ だいがつしょうどうが せいさく し こうしき ゆーちゆーぶ はいしん 話による大合唱動画を制作し、市公式YouTubeで配信しました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	ふくしむしよ 福祉事務 所(障害 ふくした 福祉担 んとう 当)			れいねんじっし しょうがい ひと ちい き かつどう しゃかいじつ 例年実施している障害のある人が地域でいきいきと活動できる社会実 現を目指すイベント「ほっこりひらかた」については新型コロナウイルス かんせんしよかくだいぼうし かんてん じっし み おく 感染症拡大防止の観点から実施を見送りました。	とうがいねんど ○:当該年度に おいては未達成 だが目標達成に む しんこうけいぞく 向けて進行継続 ちゆうたっせい み こ 中(達成に見込 み有り)	

2 ボランティア及び交流活動

計画				令和2年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	目標達成度合	達成度合理 由
(1) 地域福祉活動とボランティア活動の推進	健康福祉 総務課	地域福祉活動の 普及	市民が主体的に担う地域福祉活動を促進するため、多様な学習の機会や広報によって、地域福祉の考え方の普及を図るとともに、活動の紹介などをおこないます。	市民が主体となって実施する「校区福祉活動」をはじめとした、各種地域福祉活動の促進のため、社会福祉協議会との連携のもと、学習会・サロン活動等の開催を支援しました。 今後も、会場確保や講師職員の派遣等を通じ、活動の促進を図るとともに、地域活動を支える担い手の養成のため、積極的に研修会等を開催し、相互交流の機会の場の提供・紹介に努めます。	◎: 当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	
	健康福祉 総務課	「地域福祉計画」 の推進	「枚方市地域福祉計画」の着実な実施により、社会福祉協議会と連携し、市民による地域福祉活動の支援を充実させます。	令和2年度から令和6年度までを計画期間とした「枚方市地域福祉計画(第4期)」について、進捗状況確認のために、関係部課長会議を開催し、令和2年度の関係各課の取り組みについて報告を受け、取り組みの推進を確認しました。	◎: 当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
しやく ぎほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
（１） 地域福祉活動とボランティア活動の推進	けんこうふくし 健康福祉 そうむか 総務課	かつどう ボランティア活動 しえんたいせい せいび 支援体制の整備	しゃかいふくしきようぎかい ひらかたし 社会福祉協議会（枚方市 ボランティアセンター）等と れんけい 連携して、ボランティアが えんかつ かつどう ひ 円滑に活動できるよう必 つよう かんきようせいび はか 要な環境整備を図りま す。	しゃかいふくしきようぎかい ひらかたし 社会福祉協議会（枚方市ボランティアセンター）でのボランティア体験プログラム、ボランティアスクールなどの活動に加え、災害時要援護者避難支援事業において災害ボランティアを募り、ボランティアセンターに登録する事業を行いました。	とうがいねんど ◎：当該年度に おいては目標達成（事業継続中）	
	けんこうふくし 健康福祉 そうむか 総務課	たいけん ボランティア体験 すいしん の推進	ひらかたし 枚方市ボランティアセン ター）等と連携して、誰も さんか が参加できるボランティア たいけんじぎょう すいしん 体験事業を推進します。			
（２） 地域交流の推進と居場所づくり	けんこうふくし 健康福祉 そうむか 総務課	こうりゆうきかい じゅうじつ 交流機会の充実	じぎょうしゃとう れんけい サービス事業者等と連携 し、障害の有無に関わら とも たの ず共に楽しめるレクリエー ションや文化・スポーツ活 ぶんか か 動等の交流機会の充実を はか 図ります。	おんすい ラポールひらかた温水プールにおいて、障害者（児）、障害児親子を対象にした水泳教室等の開催を予定しておりましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響等により、開催できませんでした。 平成29年度 7教室、平成30年度 7教室、令和元年度 7教室	とうがいねんど ○：当該年度に おいては未達成 だが目標達成に む しんこうけいぞく 向けて進行継続 ちゅうたっせい み こ 中（達成に見込 あ み有り）	
	ふくしじむしょ 福祉事務 所（障害 いふくしたん 福祉担 とう 当）			しょうがいしゃとう こうりゅう はか 障害者等の交流を図るイベント「ふれあいスポーツ交流会」及び「ジョイフルクリスマス会」を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催できませんでした。	とうがいねんど ○：当該年度に おいては未達成 だが目標達成に む しんこうけいぞく 向けて進行継続 ちゅうたっせい み こ 中（達成に見込 あ み有り）	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し さく きほ 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	し さくめい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひょうたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(2) 地域交流の推進と居場所づくり	福祉事務所(障害者福祉担当)	身近な居場所づくり	障害者が日常的に、気軽に立ち寄り時間を過ごせる身近な交流拠点を、地域活動支援センターとの連携によって確保します。	市内8か所の地域活動支援センターでは、障害者が日常的に気軽に立ち寄り、時間を過ごせるよう、様々な創作的活動や生産活動のメニューを用意し、令和元年度も多くの方が利用しました。また、新たに地域活動支援センターⅢ型1か所について、令和3年4月の開設に向け、事業者の公募、選定等の準備を行いました。	◎:当該年度においては目標達成(事業継続中)	

2. 障害者が安心できるまちづくり

1 福祉のまちづくり

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し さく きほ 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	し さくめい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひょうたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 公共施設の整備	施設整備室	公共施設の整備・改善	誰もが利用しやすい公共施設をめざし、学校施設ほか市有施設の整備・改修に際し、多目的トイレ、スロープ等を設置し、バリアフリー化を進めます。	香里団地保育所にエレベーターを設置するとともに、総合体育館の4階及び屋外、教育文化センターの2階、枚方公園青少年センターの1階から3階に設置されている多目的トイレにオストメイト対応機器を整備しました。 また、小学校及び中学校のトイレ改造工事(小学校7校、中学校1校)により、廊下とトイレの段差解消を図るとともに、便器及び手洗いの一部に手摺を設置し、多目的トイレを小学校5校、中学校1校に設置しました。 今後も利用しやすい公共施設をめざし整備に努めてまいります。	◎:当該年度においては目標達成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し ざく けい 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	し ざくめい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 公共施設 の整備	みち・み どり室	こうえん せいび かいぜん 公園の整備・改善	すべての利用者がより円滑に利用できるよう公園施設の更新、改修、撤去等を行い、バリアフリー化を順次進めます。	かいはいつ こうい ともな ていきょうえん けいかくだんかい 開発行為に伴う提供公園の計画段階において、バリアフリー化の指導を行い、令和2年度は2公園で新設、1公園で増設を行いました。また、既存の1公園については、園路を車いすで通行できるようにスロープ工事を実施しました。	とうがいねんど ○:当該年度に おいては未達成 だが目標達成に む かけて進行継続 ちゆうたっせい み こ 中(達成に見込 あ み有り)	
	ど ぼくせいざく 土木政策 か 課	えきおよ しゅうへん 駅及び周辺のバ アフリー化	しょうがいしゃ あんぜん かいてき いど 障害者が安全で快適に移 動できるよう、「枚方市交 通バリアフリー基本構想」 等に基づき、今後も歩道 段差の解消、点字ブロッ クの敷設など歩道のバ アフリー化を図るととも に、利便性や安全性の向 上促進を図るため関係機 関等との連絡調整を行 います。	れいわ ねんど ひらかたし 令和2年度枚方市バリアフリー推進協議会(当事者及び交通事業者で構成)は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止としたが、書面と音声ファイルにて令和2年度のバリアフリー法改正と法の基本方針について情報の共有化を図った。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
(2) アクセシビ リティの確 保	どうろかせん 道路河川 せいび か 整備課			みやのさか だい ごうせん みやのさかえきしゅうへんちく 宮之阪第13号線(宮之阪駅周辺地区)において、障害者ならびに高齢者が安全かつ円滑に通行することを目的として歩道の一部区間の拡幅や段差解消に加え、視覚障害者誘導用ブロックの設置や横断防止柵の設置等、現道のバリアフリー化整備工事を行いました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し ざく きほ 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	し ざく めい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひょうたっせいど あい 目標達成度合い	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
（ 2 ）公共 交通及 び道路 の改善 など アク セシビ リティ の確保	どうろかせん 道路河川 かんりか 管理課	ほ どう かんきようかいぜん 歩道の環境改善	しょうがいしゃ つうこう さまた 障害者の通行の妨げとな る放置自転車や違法駐 車、不法占用物を撤去す るとともに、市民啓発を進 めます。	ほうち じてんしゃ どう てつきよ およ しみんけいはつ すす ・放置自転車等の撤去及び市民啓発を進めます。 ふほう せんようぶつ てつきよ およ しみんけいはつ すす ・不法占用物の撤去及び市民啓発を進めます。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	こうつうたいさく 交通対策 か 課			ひらかたしえきしゅうへん ちゅうしゃばうしじゅうてんちいき じどうしゃ ・枚方市駅周辺を「めいわく駐車防止重点地域」とし、自動車および50 cc超のバイクに対し、交通指導員によるめいわく駐車防止の啓発を 行っています。 ちよう たい こうつうしどういん ちゅうしゃばうし けいはつ チャリン貼付車両台数 3,569台 じょうれい もと てつどうえきしゅうへん ほうち じてんしゃ ・条例に基づき、鉄道駅周辺に放置している自転車、ミニバイク(50cc 以下)の指導・警告・移送を行いました。 いか しどう けいこく いそう おこな 警告車両台数 10,879台 移送台数 1,012台	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	こうつうたいさく 交通対策 か 課	こうつうあんぜんしせつ 交通安全施設の せつち 設置	どうろこうつうかんきよう かいぜん はか 道路交通環境の改善を図 るため、ガードレール、 カーブミラーなど交通安全 施設の整備を進めます。 こうつうあんぜん くかくせん	こうつうあんぜんしせつせいび じっし 交通安全施設整備の実施 あんぜんさく もと ・安全柵 1,399m ・カーブミラー 35基 くかくせん ふく ・区画線 20,724m(グリーンライン852mを含む) ほん くるまど ・ポストコーン 34本 ・車止め 29か所 そっこう あんきよ か ほどうかくふく ・側溝暗渠化 37.6m ・歩道拡幅 128m	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	ふくしじむしょ 福祉事務 所(障害 ふくした 福祉担 んどう 当)	ふくしせいそう 福祉移送サービス	しょうがいしゃ しゃかいさんか きか 障害者の社会参加の機 会を拡充するため、サー ビスの提供事業者の確保 と共同配車センターの充 実に努めます。 い かくじゅう きょうどうはいしや じゅ ていきようじぎょうしや かくほ きょうどうはいしや じゅ うじつ つと	れいわ ねんど ふくしせいそう じぎょうしや とうろく おこな 令和2年度は、福祉移送サービスに12事業者が登録を行い、サービス 提供を行いました。共同配車センターについては、3事業者が登録を行 いサービスを提供することで、障害者の社会参加の機会の拡充に努め ました。 ていきよう しょうがいしゃ しゃかいさんか きか かくじゅう つと	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	

じゅうかんきょう
2 住環境

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
しきく 施策の基 ん もくひょう 本目標	しょかん か 所管課	しきくめい 施策名	とく 取り組み	とく ないよう 取り組み内容	もくひょうたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 住まいの確保と改善	ふくしじむしょ 福祉事務所 (障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	グループホームの かくじゅう かいぜん 拡充・改善	しん きかいせつ ていいんぞうか 新規開設や、定員増加を ともな せいび おこな じぎょうしや に伴う整備を行う事業者へ しえん おこな 支援を行い、グループ ホームの整備促進を図り ます。また、消防法改正 ともな しょうぼうせつ び せつち に伴う消防設備の設置に し おこな ほじょ ついても、市が行う補助 せいどとう かつよう りようしや 制度等を活用し、利用者 あんぜんかく ほ へいせい の安全確保のため、平成 ねんどまつ せいび 30年度末までに整備する よう、事業者に促すととも じぎょうしや うなが に、関係機関に対し、働き かんけいきかん たい はたら かけを行っていきます。 おこな	くに しゃかいふくししせつとうしせつ せい び ひほじょきん ・国の社会福祉施設等施設整備費補助金について、スプリンクラー設 つびとうせい び かか しんせい 備等整備に係る申請はありませんでした。 しな い ・市内にグループホームを新規に開設、又は定員を増加するための増 せつ じぎょう おこな さい ひらかたし しん きかいせつとうせい び ひほじょき 設をする事業を行う際に、枚方市グループホーム新規開設等整備補助 ん こうふ 金を交付することにより、グループホームの整備を図るとともに、障害 いしや ちい きい こうそくしん はか 者の地域移行促進を図りました。 こうふじっせき じぎょうしよ しん きかいせつ 交付実績：8事業所（新規開設）	とうがいねんど ◎：当該年度に おいては目標達 せい じぎょうけいぞくちゅう 成（事業継続中）	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
しきく きてん 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とく 取り組み	とく ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 住まいの確保と改善	ふくしじむしよ 福祉事務 所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	じゅうたくかいぞうじよせい 住宅改造助成	じゅうどうしょうがいしゃ たい じゅうたく 重度障害者に対する住宅 かいぞう ひ いちぶじよせい 改造費の一部助成につい ては、さらなる周知を図 り、利用の促進に努めま す。また、必要な対象者 がより活用しやすい要件 とするなど、制度拡充をめ ざします。	れいわ ねんど りようじっせき けん 令和2年度の利用実績は21件でした。本制度を活用したことにより、障 害者および介護者の日常生活での安全性・利便性の向上を図ることが できました。また、より活用しやすい制度となるよう、関係機関と意見交 換を行いました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	ふくしじむしよ 福祉事務 所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	す かん そう 住まいに関する相 談と情報提供	じゅうたく ふく せいかつぜんばん 住宅を含めた生活全般に 関する相談を、市内の相 談支援事業者等で実施し ていくとともに、情報収集・ 提供に努めます。	しない しよ そうだんしえん 市内6か所の相談支援センターのほか、市内の相談支援事業者等で、 住宅を含めた生活全般の相談を実施しました。また、地域健康福祉室 障害福祉担当においても、情報収集・提供に努めました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	

計画				令和2年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	目標達成度合	達成度合理 由
(1) 常時の見守り及び情報把握	危機管理 室	ひなんこうどうようしえんしゃ 避難行動要支援 者の把握	さいがい いじ ようえん ごしゃ ひなんしえ 災害時要援護者避難支 援事業の周知を、障害 者・児と家族、コミュニテイ 協議会、自主防災組織、 民生委員等と連携しなが ら進めるとともに、日常業 務を通じて要援護者の把 握に努めます。	さいがい いじ ひなんこうどうようしえんしゃ めいぼ さくせい 災害時避難行動要支援者名簿を作成することにより把握している。 めいぼとうろくたいしやうしや かいご ほけん ようかいこ にんていしや しんたいしよ 名簿登録対象者は、①介護保険の要介護3～5の認定者、②身体障 害者手帳1・2級を交付されている身体障害者(児)、③療育手帳Aを交 付されている知的障害者(児)、④精神障害者保健福祉手帳1級を交 付されている精神障害者(児)、⑤障害者総合支援法に基づくサービス を利用している難病患者。 平時には名簿搭載者のうち、名簿情報を避難支援等関係者へ提供す ることに同意している対象者の名簿情報を、地域の民生委員等へ提供 しており、地域の民生委員等が平常時に名簿情報を活用し、平常時の 見守り、災害時の情報伝達、安否確認、避難支援等に役立てている。 ひなんしえんとう ひつよう はんい めいぼじようほう ひなんしえんとうかんけいしや 避難支援等に必要な範囲において、名簿情報を避難支援等関係者へ 提供することに同意していない対象者についても避難支援等関係者に 提供し、災害時の安否確認、避難支援等に活用する。	とうがいねんど ○: 当該年度に おいては未達成 だが目標達成に む しんこうけいぞく 向けて進行継続 中(達成に見込 み あり)	
	ちいきけんこうふ 地域健康 福祉室 (母子保 健担当)		じんこうききゅうきそうちやくじ など ようえんごじ 人工呼吸器装着児等の要援護児について、医療機関を含む関係機関 と連携強化を図りながら、把握に努めました。	いりようきかん ふく かんけいきかん ◎: 当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)		

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し ざ く ぎ ぽ 施策の基 ん もくひよう 本目標	し ょ かん か 所管課	し ざ く め い 施策名	と く 取り組み	と く な い よ う 取り組み内容	もくひようたっせいど あ い 目標達成度合	たっせいど あ い り ゆ 達成度合理 由
(1) 常時の見守り及び情報把握	けんこうふくし 健康福祉 そうむか 総務課	ひなんこうどうようしえん 避難行動要支援 者の把握	さいがいじ しょうえんごしやひなんしえ 災害時要援護者避難支 んじぎょう しゅうち しょうが 援事業の周知を、障害 いしや じ かぞく 者・児と家族、コミュニテイ きょうぎかい じしゅぼうさいそしき 協議会、自主防災組織、 みんせいいいんとう れんけい 民生委員等と連携しなが すす ら進めるとともに、日常業 うむ つう しょうえんごしや は 務を通じて要援護者の把 あく つと 握に努めます。	さいがいじ しょうえんごしや ひなん しえん じぎょう 災害時要援護者避難支援事業について校区コミュニテイ協議会等と連 けい ひなん しえん しや せつてい と く 携し、「避難支援者」の設定に取り組みました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	ふくしじむしよ 福祉事務 所(障害 しょうが いふくしたん 福祉担 とう 当)			しんたいしょうがいしやてちょう きゅう りょういくてちょう およ せいしんしょうがいしやほけんふくしてちょう 身体障害者手帳1・2級、療育手帳A及び精神障害者保健福祉手帳1 きゅう しよじしや ひなんこうどうようしえんしやめいぼ けいさいたいしやう かた め 級の所持者など、避難行動要支援者名簿の掲載対象となった方の名 いぼ せいび めいぼじょうほう かんり かつよう ひなんこうどうよ 簿を整備するとともに、名簿情報を管理し、活用するための避難行動 うしえんしやめいぼ どうにゅう と く 要支援者名簿システムの導入に取り組みました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	ほけんよぼうか 保健予防 課			していなんびょうかんじや じか ンじんこうこきゅうき そうちやく き かんせつかい おこな 指定難病患者で24時間人工呼吸器装着または気管切開を行っている かんじや かぞく じんこうこきゅうきそうちやくじ かぞく たい なんびょういりょうひしん 患者とその家族、人工呼吸器装着児とその家族に対し、難病医療費申 せいじなど にちじょうぎやうむ つう さいがい じ じゅんびぶつ こうどうかくにんなど 請時等の日常業務を通じて、災害時における準備物や行動確認等を ほけんし かんじや おこな 保健師が患者ごとに行いました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し ざく きほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	し ざく めい 施策名	と く 取り組み	と り く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 常時の見守り及び情報把握	き き かんり 危機管理 しつ 室	ほうさいい しき こうよう 防災意識の高揚と ち い き し え ん た 地域での支援体 いせい 制づくり	ほうさい けいはつ おこな 防災について啓発を行う とともに、さいがいじ ひなん 災害時の避難 ばしよ きんきゆうじ れ 場所や緊急時における連 んらくほうとう しゅうち はか 絡方法等の周知を図りま す。また、しぜん かたち しえん 自然な形で支援 う にちじょうてき を受けられるよう、日常的 かんけいつく ふく ちい き な関係作りを含めた地域 し え ん た い せい きようか はか 支援体制の強化を図りま す。	ほうさい かん で ま え こうざ かいじっし ち い き ほうさいい しき たか と 防災に関する出前講座を11回実施し、地域での防災意識を高める取 組みを行った。 ち い き じしゅほうさいくねん し え ん かいじっし にちじょうてき かんけ また地域における自主防災訓練への支援を22回実施し日常的な関係 いづく ふく ちい き し え ん た い せい きようか はか 作りを含めた地域支援体制の強化を図った。	とうがいねんど ○:当該年度に おいては未達成 だが目標達成に むくひようたっせい むくひようたっせい 向けて進行継続 ちゅうたっせい み こ 中(達成に見込 あ み有り)	
	けんこうふくし 健康福祉 そうむか 総務課			さいがいじ しょうえんごしゃ ひなん しえん じぎょう こうく 災害時要援護者避難支援事業について校区コミュニティ協議会等と連 携し、「避難支援者」の設定に取り組みました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 せい じぎょうけいぞくちゅう 成(事業継続中)	
	ふくしじむしょ 福祉事務 所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)			ひなん こうどう しょう しえん しや しな い しょうがっこうく めいぼ せいび ほか さいがいじよ 避難行動要支援者の市内小学校区ごとの名簿を整備した他、災害情 報カードの配布にかえて、平成31年1月からヘルプカード(必要な支援 れんらくさき きさい はいふ しょうがいしや あんび かくにん ひなん ゆうどう ひなん しょ や連絡先を記載)を配布し、障害者の安否確認から避難誘導、避難所 せいいかつ はいりよ かのう たいせいせいび と く 生活などへの配慮が可能となるよう体制整備に取り組みました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 せい じぎょうけいぞくちゅう 成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し さく きほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	し さくめい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 常時の見守り及び情報把握	ふくしじむしょ 福祉事務所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	さいがいじょうほう 災害情報カードの はいふ 配布	さいがいじ ひなんせいかつとう 災害時の避難生活等に いて、必要な支援が受け られるよう、本人の障害等 の状況や必要な配慮事項 が記載できる「災害情報 カード」を配布します。	へいせい ねん がつ 平成31年1月から、災害情報カードに替えて、身体障害者手帳、療育手 帳、精神障害者保健福祉手帳を窓口で交付する際に、手帳とともにヘル プカードを配布しています。このカードに、支援が必要な事項を具体的 に記載して所持していただくことで、災害時の避難生活等において も、より適切な支援が行われるように取り組みました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	ふくしじむしょ 福祉事務所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	きんきゆうつうほうそうち 緊急通報装置の せつち 設置	きんきゆうつうほうそうち たいよじぎょ 緊急通報装置の貸与事 業については、継続して 事業を実施し、ひとり暮らし などの重度障害者の不安 感の解消を図ります。	ひとり暮らしの身体障害者、知的障害者、精神障害者及び難病患者等 に対して、緊急通報装置を貸与することにより、急病・災害等の緊急時 における迅速かつ適切な対応を確保するとともに、ひとり暮らしの不安 解消を図りました。令和3年3月31日現在、34名が緊急通報装置を利 用中です。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	ふくしじむしょ 福祉事務所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	かさいよ ぼうてんけん 火災予防点検の すいしん 推進	ひとり暮らしなどの重度障 害者世帯を対象とする火 災予防点検事業について は、今後も、対象世帯の 把握に努めるとともに、利 用を促します。また、事業 の周知を図ります。	れいわ ねん がつ 令和3年3月に、消防署、大阪ガスの協力を得て、重度障害者世帯(65 歳未満及びひとり暮らしまたはそれに準ずる世帯)のうち、点検を希望 される方を対象に、火災予防の上で注意点がないか点検を実施し、適 宜助言を行いました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
しきく 基 策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(2) 災害時を想定した避難方法等の確立	きき かんり 危機管理 しつ 室	さいがいじ 災害時における要 はいりしよ しえん ふく 配慮者の支援と福 し ひなんじよ じゆうじつ 祉避難所の充実	ち い き ほうさいけいかく もと 地域防災計画に基づき、 しょうがいしや あんぴかくにん ひなん 障害者の安否確認、避難 ゆうどう ひなんじよせいいかつ 誘導、避難所生活におけ はいりよ あんぜんたいさく る配慮などの安全対策を てきかく じっし たいせい 的確に実施できる体制の せいび と く 整備に取り組みます。ま た、障害の特性に応じた ひなんせいいかつ ふくしひな 避難生活ができる福祉避 んじよ じゆうじつとう と く 難所の充実等に取り組み ます。	さいがいじ ひなんこうどうようしえんしやめいぼ さくせい はあく 災害時避難行動要支援者名簿を作成することにより把握している。 めいぼとうろくたいしようしや かいごほけん ようかいご にんていしや しんたいしよ 名簿登録対象者は、①介護保険の要介護3～5の認定者、②身体障 うがいしやてちよう きゆう こう ふ しんたいしやうがいしや じ りよういくてちよう こう 害者手帳1・2級を交付されている身体障害者(児)、③療育手帳Aを交 ふ ちてきしやうがいしや じ せいしんしやうがいしやほけんふくしてちよう きゆう こう 付されている知的障害者(児)、④精神障害者保健福祉手帳1級を交 ふ せいしんしやうがいしや じ しょうがいしやそうごうしえんほう もと 付されている精神障害者(児)、⑤障害者総合支援法に基づくサービス りよう なんびようかんじや を利用している難病患者。 さいがいじ ひなんしえんとう ひつよう はんい めいぼじようほう ひなんしえんとう 災害時には避難支援等に必要範囲において、名簿情報を避難支援 かんけいしや ていきよう どうい たいしようしや ひなんしえんとう 等関係者へ提供することに同意していない対象者についても避難支援 かんけいしや ていきよう さいがいじ あんぴかくにん ひなんしえんとう かつよう 等関係者へ提供し、災害時の安否確認、避難支援等に活用する。	とうがいねんど ○:当該年度に おいては未達成 だが目標達成に む もくひようたっせい 向けて進行継続 しんこうけいぞく 中(達成に見込 ちゆうたっせい み こ み有り) あ	
	けんこうふくし 健康福祉 そうむか 総務課			さいがいじ ようえんごしや ひなん しえん じぎょう こうく きようぎ かいとう れん 災害時要援護者避難支援事業について校区コミュニティ協議会等と連 けい ひなん しえん しや せつてい と く 携し、「避難支援者」の設定に取り組みました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中) もくひようたっ せい じぎょうけいぞくちゆう	
	ふくしじむしよ 福祉事務 所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)			いっていいじよう しょうがい うち めいぼじようほう ていきよう どうい めいぼ 一定以上の障害のある内、名簿情報の提供に同意された方の名簿を、 かんけいか れんけい みんせいいいいん じしゅほうさいそき ひなんしえんとうかんけいしや 関係課と連携して、民生委員や自主防災組織など避難支援等関係者 ていきよう くわ めいぼじようほう かんり さいがいじ かつよう に提供しています。加えて、名簿情報を管理し、災害時に活用するた かんけいか れんけい ひなんこうどうようしえんしやめいぼかんり どうにゆう め、関係課と連携して、避難行動要支援者名簿管理システムの導入に と く 取り組みました。 また、要援護者の市内小学校校区ごとの名簿を整備するとともに、ヘル プカード(必要な支援や連絡先を記載)を配布することで、障害者の安 あんぴかくにん ひなんゆうどう ひなんじよせいいかつ はいりよ かのう たいせい 否確認から避難誘導、避難所生活などへの配慮が可能となる体制の せいび おこな 整備を行っています。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中) もくひようたっ せい じぎょうけいぞくちゆう	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し ざく きほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	し ざく めい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(2) 災 害 時 を 想 定 し た 避 難 方 法 等 の 確 立	ほ け ん よ ほう か 保健予防 課	なんびようかんじゃ じゅうしょうし 難病患者・重症心 んしんしょうがいじとう 身障害児等への さいがいの たいおう 災害時対応	していなんびようかんじゃ じ かんじん 指定難病患者で24時間人 こうききゅう き そうちやく き かん 工呼吸器装着または気管 せつかい おこな かんじゃ 切開を行っている患者と か ぞ く じんこうききゅう き そう その家族、人工呼吸器装 ちやくじ か ぞ く たい 着児とその家族に対し、 ほ け ん し こ べ つ さいがいの 保健師が個別に、災害時 たいおう じゅんびぶつ に対応できるよう準備物 こうどうかくにんとう ひつようせい や行動確認等の必要性 じょうほうていきよう について情報提供をする ていきてき じょうきようは とともに、定期的な状況把 あく おこな 握を行います。	かんじやおよ か ぞ く たい びょうじょうど じょうきようはあく おこな さいがいの じゅ 患者及び家族に対して、病状等の状況把握を行うとともに、災害の準 んびなど もち ほ け ん し じょうほうていきよう おこな 備等について、パンフレットを用い、保健師による情報提供を行いました。 じんこうききゅうきそうちやくじ か ぞ く たい たんとうほけんし かてい ほうもん 人工呼吸器装着児とその家族に対して、担当保健師が家庭を訪問し、 しょうきしゅ う む などさいがいの じ じゅんび りようようしつ かん じょうほ 使用機種やバッテリーの有無等災害児の準備、療養室に関する情報 うしゅうしゅさいがい じ こうどうかくにん じっし あら かてい はあく ばあい 収集と災害時の行動確認を実施しました。新たに家庭を把握した場合 には、早期に訪問し、把握できるように努めました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	ちいきけんこうふ 地域健康 くししつ 福祉室 (母子保 けんたんとう 健担当)				とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	

しょうがいじしやく じゅうじつ
3. 障害児施策の充実
 ほいく りょういく じゅうじつ
1 保育・療育の充実

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
しやく 基 施策の ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	とく ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 療育の充実・推進	ちいきけんこうふ 地域健康 くししつ 福祉室 (母子保 けんたんとう 健担当)	にゅうようじけんこうしんさ 乳幼児健康診査 すいしん の推進	にゅうようじけんこうしんさ 乳幼児健康診査におい しょうがい そうきはつけん そう て、障害の早期発見・早 き たいおう つと 期対応に努めます。ま けんしん じ こ た、健診時やその後の つう ほごしゃ フォローを通じて保護者 いくじしえん つと の育児支援に努めます。	にゅうようじ たい かくじき けんこうしんさ じっし しつぺい しょうがい そうきはつ 乳幼児に対して、各時期に健康診査を実施し、疾病や障害の早期発 けん そうきたいおう はか ほごしや たい こそだ かん そうだん ほけんしど 見・早期対応を図り、その保護者に対して子育てに関する相談・保健指 う じっし 導を実施しました。 れいわ ねんど しんがた かんせんしよせいおう げつじ けんこうしんさ こべ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対応のため、4か月児健康診査は個 けんこうしんさ さい げつじ し か けんこうしんさ ちゅうし さい げつじしか 別健康診査で、2歳6か月児歯科健康診査は中止し、2歳6か月児歯 そうだんかい じっし 科相談会として実施しました。 げつじけんこうしんさ ほけん しゅうだんけんこうしんさ さい げつじ け 4か月児健康診査と、保健センターでの集団健康診査(1歳6か月児健 んこうしんさ さい げつじけんこうしんさ さい げつじ し か そうだんかい ふないりよ 康診査、3歳6か月児健康診査)、2歳と6か月児歯科相談会、府内医 うき かん こべつけんこうしんさ にゅうじいつばんけんこうしんさ にゅうじこうきけんこうしんさ 療機関での個別健康診査(乳児一般健康診査、乳児後期健康診査)を じっし けいかかんさつ ひつよう ばあい しょうにしんけいかい じどうせいしんかいとう 実施し、経過観察が必要な場合は、小児神経科医や児童精神科医等 にじけんしんおよ しんりそうだんいん こべつはつたつそうだん じっし による二次健診及び心理相談員による個別発達相談を実施しました。 へいせい ねん がつ さい げつじ けんこうしんさ さい げつじ しかけんこうしんさ 平成28年4月より、1歳6か月児健康診査、2歳6か月児歯科健康診 さい じ けんこうしんさ へつたつしよう 査、3歳6か月児健康診査については、大阪府作成の「発達障がいの そうきはつけん もんしんこうもくてびきしよ かいてい もんしんひよう 早期発見のための問診項目手引書」にそって改訂した問診票を使用 ひつよう しえん し、必要な支援につなげています。また、聴覚障害の早期発見、早期 ういく もくてき しんせいじちようかくけんさ ひようじよせい おこな れいわ ね 療育を目的に、新生児聴覚検査の費用助成を行っています。令和2年 んど さいけんさ ひつよう ばあい かくにんけんさ ひようじよせい かいし 度には、再検査が必要となった場合の確認検査の費用助成を開始しま した。	どうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 せい じぎょうけいぞくちゅう 成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
しやく きてい 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	とく ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 療育の充実・推進	ちいきけんこうふ 地域健康 くししつ 福祉室 ぼしほけん (母子保 た んとう 健担当)	そうきたいおう じゅうじつ 早期対応の充実	けんこうしんさとう けつか はったつ 健康診査等の結果、発達 けいかかんさつ ひつよう こ の経過観察が必要な子ども もと保護者に対し、発達 ほうもん しんりそうだんいん こべつはったつそうだん じっし 相談等において助言・指 う おこな ひつよう おう 導を行い、必要に応じて りよういく いりよう れんけい はか 療育や医療との連携を図 にゅうようじけんこう ります。また、乳幼児健康 しんさじ ごしどうじぎょう おやこ 診査事後指導事業(親子 きょうしつ しょうしゅうだ 教室)においては、小集団 おやこ ほいく つう での親子の保育を通じ ほうごしや いくじしえん て、保護者の育児支援 とう そうき たいおう つと 等、早期の対応に努めま す。	けんこうしんさ けつか はったつ けいかかんさつ ひつよう こ ほうごしや たい しょう 健康診査の結果、発達の経過観察が必要な子どもと保護者に対し、小 うにしんけいかい じどうせいしんかいとう に じけんしんおよ ほうけんし かてい 児神経科医や児童精神科医等による二次健診及び保健師による家庭 ほうもん しんりそうだんいん こべつはったつそうだん じっし 訪問、心理相談員による個別発達相談を実施しました。 けいぞくでき こべつしえん ひつよう おも こ ほうごしや たい 継続的な個別支援が必要と思われる子どもと保護者に対しては、乳幼 うじけんこうしんさじ ごしどうじぎょう おやこきょうしつじぎょう じっし 児健康診査事後指導事業(親子教室事業)を実施しました。 つうしつ しゅう かいおこな こ ねんれい はったつてきとくちよう 通室は、週に1回行うものとしてます。子どもの年齢や発達の特徴から グループ分けを行い、各グループの特徴に応じた設定保育を行い、保 ごしや いくじしえん つと 護者の育児支援に努めました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 せい じぎょうけいぞくちよう 成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	とく ないよう 取り組み内容	もくひょうたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆう 達成度合理 う 由
(1) 療育の充実・推進	ふくしじむしよ 福祉事務所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	りょういく じゅうじつ 療育の充実	こべつりょういく ほごしやしどうとう 個別療育、保護者指導 等、きめ細かな療育の提 供を対象児童に行いま す。また、幼児療育園及 びすぎの木園の合築整備 については、「(仮称)枚 方市児童発達支援セン ター整備計画」に基づき、 効果的な保育や療育が行 えるよう両施設の機能を ゆう 有した整備を進めます。	けんしん しんがくとうしょうがいじ じょうきよう あ かんけい きかん じょうほう ひき 検診、進学等障害児の状況に合わせ、関係機関にてケース情報の引 つ とう れんけい おこな ひらかたししょうがいじ とう かんけい きかん れんらく かいぎ 継ぎ等の連携を行います。また「枚方市障害児等関係機関連絡会議」 をおむ げつ かいがいさいい じつむしや かいぎ だいひょうしやかいぎ さんか かんけい きかん を概ね2カ月に1回開催(実務者会議、代表者会議)し、参加関係機関 から、ほうこくおや じょうほう きょうゆう おこな きょういく ぶんや しょうがいじ しえん 報告及び情報の共有を行います。教育分野の障害児支援につ いてや、留守宅の巡回相談に関する知識の向上を図ります。進路担当 者として、しょうがいふくし たんとう しょうがいしやそうだん しえん とう しんろ そうだんかい かいさい 者と障害福祉担当、障害者相談支援センター等で進路相談会を開催 し、障害福祉制度の説明を行います。	とうがいね んど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	しりつ 市立ひら かた子ども 発達支 援セン ター			しりつ こ はったつしえん つうしよじ たい 市立ひらかた子ども発達支援センターにおいて、通所児に対しては、 しょうがいじ そうだんしえん けいかく もと ひび せいかつ きほん こべつ しゅ 障害児相談支援でたてた計画を元に日々の生活を基盤とした個別・集 うだんてき ほいく りょういく じっし いし しじ もと りがくりょうほう さぎょう 団的な保育・療育を実施するほか、医師の指示の下、理学療法、作業 りょうほう げんごちょうかくりょうほう もち ここ じょうきよう おう 療法、言語聴覚療法を用いて、個々の状況に応じたリハビリテーション じっし を実施しました。	とうがいね んど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し さく きほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 療育の 充実・ 推進	ちいきけんこうふ 地域健康 くししつ 福祉室 ぼしほ (母子保 けんたんとう 健担当)	ちいきりよういく すいしん 地域療育の推進と ちいき れんけい 地域との連携	ようじりよういくえん き えん 幼児療育園、すぎの木園 において、施設機能を地 き かいほう たいき じ ざいたく 域開放し、待機児や在宅 しょうがいじ ぼ ごしや そう 障害児の保護者からの相 だん たい じょげん 談に対する助言のほか、 ほ いくしよ えん ようちえん 保育所(園)や幼稚園など しせつ からの相談に対する じょげんとう とお ちいきりよういく 助言等を通して地域療育	い しとう せんもんしよく らいしよそうだん ほけんしとう ほうもんしどう じっし 医師等の専門職による来所相談や保健師等による訪問指導を実施し ました。	とうがいねんど ◎: 当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	しりつ 市立ひら かた子ど も発達支 えん 援セン ター		すす を進めます。また、施設を ちいき かいほう しせつ 地域に開放することで、地 き きよてん 域における拠点としての きのう きようか ほけん 機能を強化します。保健 ざいたく センターにおいて、在宅 しょうがいじ たい いしとう の障害児に対して医師等 せんもんしよく そうだん じょげん 専門職による相談・助言 とう おこな ちいきりよ 等を行うとともに、地域療 ういく れんけい はか 育と連携を図ります。	しりつ こ はったつしえん つうしよえん りよう 市立ひらかた子ども発達支援センターにおいて、通所支援を利用して しえん ひつよう おやこ たい あそ しゅうだん ば つう けいけん いないが支援を必要とする親子に対し、遊びや集団の場を通じて経験 ひろ せいちょう うなが ちいきこそだ しえんじぎょう じっし を広げ、成長を促すことができるよう「地域子育て支援事業」を実施しま した。また、子どもの発達や障害についての理解を深め、成長や発達 みとお せいてき こそだ かいさい に見通しをもってもらうことを目的に、子育て講座を開催しました。ま た、センター職員と公立保育所職員で、発達障害に対する研修やケー おこな ちいきりよういく すいしん つど スカンファレンスを行い、地域療育の推進に努めました。	とうがいねんど ◎: 当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	

計 画				令和2年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	目標達成度合	達成度合理 理由
(1)療育の充実・推進	地域健康福祉室 (母子保健担当)	関係機関との連携	保健センター、療育機関、保育所(園)、幼稚園等から小学校、小学校から中学・高等学校、中学・高等学校から進学先・就職先、就職先から福祉施設へと発達障害のある児童を含め障害児童のニーズに応じた進路の選択が行えるよう、庁内及び関係機関との連携を図ります。また、枚方市障害児等関係機関連絡会議において、障害のある児童及びその周辺の児童(健診等でフォロー児童等)並びにその家族が抱える様々な問題に対して、情報交換、意見交換等を行い、関係機関の連携を図ります。	療育機関、保育所(園)・小規模保育施設・幼稚園等、小学校等への就園・就学にあたり、ニーズに応じた進路選択ができるよう、連携を図りながら、保護者支援に努めました。また、枚方市障害児等関係機関連絡会議のいては、事務局メンバーとして会議の運営に携わりながら、関係機関の連携に努めました。	◎:当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	
	福祉事務所(障害福祉担当)		に 応じた進路の選択が行えるよう、庁内及び関係機関との連携を図ります。また、枚方市障害児等関係機関連絡会議において、障害のある児童及びその周辺の児童(健診等でフォロー児童等)並びにその家族が抱える様々な問題に対して、情報交換、意見交換等を行い、関係機関の連携を図ります。	検診、進学等障害児の状況に合わせ、関係機関にてケース情報の引き継ぎ等の連携を行います。また進路担当者と障害福祉担当、障害者相談支援センター等で進路相談会を開催し、障害福祉制度の説明を行います。	◎:当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	
	公立保育幼稚園課		でフォロー児童等)並びにその家族が抱える様々な問題に対して、情報交換、意見交換等を行い、関係機関の連携を図ります。	小学校へ入学する児童については、入所していた保育所等から児童に関する要録を小学校へ送付しています。また、校長会や私立保育所(園)等とも意見交換を行うなどの取り組みを行っています。発達相談を利用している児童の場合、保護者を通じて小学校への情報提供を行うなどの取り組みも行っています。	◎:当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し ざく ぎほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	し ざく めい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1)療育の充実・推進	こ 子どもの そだ みまも 育ち見守 りセン ター	かんけいきかん れんけい 関係機関との連携	ほ けん りよういくきかん 保健センター、療育機関、 ほ いくじよ えん ようちえんとう 保育所(園)、幼稚園等か しょうがっこう しょうがっこう ら小学校、小学校から中 うがく こうとうがっこう ちゅうがく こうとう 学・高等学校、中学・高等 がっこう しんがくさき しゅうしよ 学校から進学先・就職 くさき しゅうしよくさき ふくしし せつ 先、就職先から福祉施設 はつたつしやうがい じどう へと発達障害のある児童 ふく しょうがいじどう を含め障害児童のニーズ に おう しんろ せんたく おこな に応じた進路の選択が行 えよう、庁内及び関係 き かん れんけい はか 機関との連携を図ります。 また、枚方市障害児等関 かん れんらくかい ぎ 係機関連絡会議におい しょうがい じどうおよ て、障害のある児童及び しゅうへん じどう けんしんとう その周辺の児童(健診等 じどうとう なら でフォロー児童等)並びに か ぞく かか さまざま その家族が抱える様々な もんだい たい じょうほうこう 問題に対して、情報交 かん い けんこうかんとう おこな 換、意見交換等を行い、 かんけいきかん れんけい はか 関係機関の連携を図りま す。	ひらかたし しょうがしじ とう かんけいきかん れんらくかいぎ 「枚方市障害児等関係機関連絡会議」において、各機関の現状や新 と く とう じょうほうきやうれんけい な取り組み等について情報共有し、連携につなげました。新型コロナ かんせんかくだい えいきやう けんしゅうかい しせつ けんがく ちゅうし ウイルス感染拡大の影響もあり、研修会と施設見学は中止となりました。 じつむしや かいぎ かい だいいひようしゆいぎ かい じつし たが、実務者会議3回、代表者会議1回を実施しました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 せい じぎやうけいぞくちゅう 成(事業継続中)	
	きよういくし えん 教育支援 しつ じどう 室(児童 せいとし えん 生徒支援 たんとう 担当)			しゅうがくまえ しょうがっこう、ちゅうがっこう、こうとうがっこう れんけい 就学前、小学校、中学校、高等学校と連携をしていき、個々のニーズに そ しえん こべつ きよういくしえんけいかく さくせい しえん つと 沿った支援ができるように個別の教育支援計画を作成し、支援に努め ました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 せい じぎやうけいぞくちゅう 成(事業継続中)	
	こうりつ ほ いく 公立保育 ようちえん か 幼稚園課			し えん がっこうとう かんけいきかん れんけい はか 支援学校等の関係機関と連携を図りながら、幼児の状況に応じた個別 きよういくし えんけいかく さくせい てきせつ ひ つ おこな の教育支援計画を作成し、適切な引き継ぎが行われるよう、幼稚園と しょうがっこう ようしやうれんけいかいぎとう じっし 小学校で幼小連携会議等を実施しました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 せい じぎやうけいぞくちゅう 成(事業継続中)	
	きよういくし えん 教育支援 しつ ほうかご 室(放課 こ 後子ども たんとう 担当)			しょうがい じどう はつたつめん せいかつめん き じどう たい 障害のある児童や発達面・生活面などで気がかりのある児童に対し う い てきせつ ほいく じっし にゆうしつまえ ほ て、スムーズな受け入れや適切な保育を実施するために、入室前に保 ご しゃ じどうかいしつしよくいん かないしよくいん こんだん さんしやこんだん じっし 護者、児童会室職員、課内職員で懇談(三者懇談)を実施しました。また、 ほごしゃ りやうしやう もと しゅうしんやうちえん ほいくえん しょ およ がっこうとう じょうほ た、保護者の了承の下、出身幼稚園・保育園(所)、及び学校等と情報 うこうかん おこな れんけい はか れいわ ねんど さんしやこんだん じっしかいすう かい 交換を行い、連携を図りました。(令和2年度三者懇談実施回数:70回)	とうがいねんど ○:当該年度に おいては未達成 もくひようたっせい だが目標達成に む しんこうけいぞく 向けて進行継続 ちゅう たっせい み こ 中(達成に見込 あ み有り)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し ざく きてん 施策の基 本目標	しよかん か 所管課	し ざく めい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせい ど あ 目標達成度合	たっせい ど あ 達成度合理 由
(2) 障 害児保 育及び 就学 前教育 の推 進	こうりつ ほい く 公立保育 ようちえん か 幼稚園課	ほい く しゅうがくぜんきょうい く 保育と就学前教育 の充実	ほい く しょ えん ようちえんとう 保育所(園)・幼稚園等に おいて、「共に生き、共に 育つ」保育を実施すると もに、職員研修や必要 な人材の配置等により、 障害のある子どもの支援 体制の強化を図ります。	こう し ほい く しょ えん 公立保育所(園)において、集団保育を必要とする障害児に、「共に 生き、共に育つ」保育を推進しています。保育所入所後のフォローとし て、巡回相談・保育相談を実施しました。また、障害児保育に係わる職 員の保育の質の向上を目指した研修の実施については、予定していた 障害児保育研修会は新型コロナウイルス感染症対策のため自粛しま したが、障害児保育担当保育士研修については、公私立57園を対象と して動画視聴形式で実施しました。	とうがいね んど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	こ 子どもの そだ み まも 育ち見守 りセン ター			こ はったつ し えん 子ども発達支援センターから依頼を受けて、発達状況を踏まえた指導 や障害に対する助言を保育士に行うために、私立保育所(園)への訪 問による保育相談を実施しました。実施頻度は、年2回、実施園12園、 訪問延べ日数50日、実施延べ人数166人。	とうがいね んど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	こうりつ ほい く 公立保育 ようちえん か 幼稚園課			と く 取り組みの方向性を踏まえ、「ともに学び、ともに育つ」教育の充実を図 るため、障害の状況に応じた適切な教育課程を計画的・系統的に編成 し実施するとともに、支援を必要とする幼児が在籍する公立幼稚園(7 園)に支援教育担当21名及び生活支援員24名を配置し、支援体制の 充実を図りました。 また、支援教育に関する専門性を高め、障害のある子供の指導・支援 等、様々な課題に対応できる人材の育成に向けて、園内研修や支援 会議等を定期的に行いました。	とうがいね んど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	がっこうきょうい く 学校教育 しつ きょうい く 室(教育 けんしゅうた 研修担 当)			かくえん はいち 各園に配置された支援教育担当、生活支援員を含めた教職員を対象 とし、支援の必要な子どもを含めた仲間関係について動画視聴・巡回 研究協議を実施しました。また、新しく配置された支援教育コーディ ネーターを対象とした研修や支援教育研修については、小中学校と合 同で資料送付等を行い、研修を希望する教職員に配布しました。	とうがいね んど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し さく きほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	し さく めい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合い	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(3) 児 童・生 徒に 対し る支 援の 充 実	ふくしじむしよ 福祉事務 所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	ほうか ごとう 放課後等デイス アの充実	しやう ちゆう こうとうがっこう しやうがく 小・中・高等学校に就学す る障害児の授業終了後や がっこう きゆうぎようび せいかつのう 学校の休業日に、生活能 りよく こうじよう ひつよう 力の向上のために必要な くねん し えん おこな りよういく 訓練や支援を行い、療育 じゆうじつ はか の充実を図ります。	れいわ ねんど じぎようしよ さんにゆう ごうけい じぎようしよ しきゆうけつていにんずう 令和2年度は、6事業所が参入(合計56事業所)し、支給決定人数は 919人、延利用日数は125,272日でした。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	ふくしじむしよ 福祉事務 所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	につちゆういちじしえんじぎよう 日中一時支援事 業の拡大	ほうしゆうたなか かさんせいど 報酬単価や加算制度の 見直し、事業所要件の拡 充等、制度の見直しを行 い、日中一時支援事業を じっし じぎようしや かくほ 実施する事業者の確保を はか じゆうぶん てい 図り、十分なサービス提 供を図ります。	れいわ ねんど じぎようしよ さんにゆう じぎようしよ てつたい ごうけい じぎようしよ 令和2年度は、3事業所が参入し、8事業所が撤退(合計19事業所) し、支給決定人数は599人、延べ利用日数は15,338日でした。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	きよういくしえん 教育支援 室(放課 後子ども 担当)	るす かていじどうかい 留守家庭児童会 室運営事業	へいせい ねんど しな 平成28年度まで市内4か 所で受け入れていた障害 のある第5・6学年の児童 について、市内45か所で 運営している留守家庭児 童会室で、平成30年度よ り受け入れを開始します。	るす かてい じどう かいしつ しょうがい じどう とう う い しつ ぜ 留守家庭児童会室では、障害のある児童等の受け入れにあたり、室全 体の運営状況を踏まえて適切な人員を配置することで、放課後の遊び 及び生活の場の提供に取り組みました。	とうがいねんど ○:当該年度に おいては未達成 だが目標達成に む しんこうけいぞく 向けて進行継続 ちゆうたっせい み こ 中(達成に見込 みあり)	

がっこうきょういく しんろしどう
2 学校教育と進路指導

		けいかく 計画		れいわ わんどじっせき 令和2年度実績		
し さく きほ 施策の基 ん もくひょう 本目標	しょかん か 所管課	し さくめい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひょうたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 障害のある児童等への教育の充実	きょういくし えん 教育支援 しつ じどう 室(児童 せいとし えん 生徒支援 たんどう 担当)	しょうがい じ どうとう 障害のある児童等 への教育の充実	しょう ちゆうがっこう こべつ 小・中学校において、個別 の教育支援計画等を活用 し、障害のある児童等の ニーズに応じた適切な教 育を行えるように努めま す。また、教職員研修の 充実や、支援学校などの スタッフ及び専門家による 巡回相談を活用しながら、 教育の充実を図って いきます。	しょうがい じどう・せいと たい し えん じゆうじつ ○障害のある児童・生徒に対する支援の充実について し えんきょういく し えんじゆうじつじぎょう かいけいねんど にんようしよくいんこうし は ・支援教育コーディネーター支援充実事業(会計年度任用職員講師の配 置) したいふじゆうじ かいじょいん がっこうかんごし はいち ・肢体不自由児助員・学校看護師の配置 しょうがいじ きのうかいふく くんれんじぎょう りがくりょうほうし げんごちようかくし きぎょうりょうほうし は ・障害児機能回復訓練事業(理学療法士、言語聴覚士、作業療法士の派 遣) じょうばたいけんじぎょう ・セルフわらしべ乗馬体験事業 しきょうい しゆさい きょうしよくいんけんしゆうじゆうじつ ○市教委主催の教職員研修の充実について し えんきょういくけんしゆう かい ・支援教育研修3回 し えんきょういく けんしゆう かい ・支援教育コーディネーター研修2回 つうきゅうしどう じっせんけんしゆう かい ・通級指導実践研修1回 せんもんかどう がっこうし えん じゆうじつ ○専門家等による学校支援の充実について し えんきょういく がっこうえん し えんじぎょう しょうちゆうがっこう せんもんかどう はけん ・支援教育学校園支援事業(幼稚園、小・中学校への専門家等の派遣) おおさかふりつし えんがっこう じゅんかいそうだん ・大阪府立支援学校コーディネーターによる巡回相談 ・リーディングチーム(通級指導教室担当者)による巡回相談	どうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	

		けいかく 計画		れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
しきく きほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 障害のある児童等への教育の充実	がっこうきょうい 学校教育 くしつ きょうい 室(教育 けんしゅうた 研修担 んとう 当)	しょうがい 障害のある児童等 への教育の充実	しょう ちゅうがっこう こべつ 小・中学校において、個別 の教育支援計画等を活用 し、障害のある児童等の ニーズに応じた適切な教 育を行えるように努めま す。また、教職員研修の 充実や、支援学校などの スタッフ及び専門家による 巡回相談を活用しながら ら、教育の充実を図って いきます。	しきょうい しゅさい きょうしよけんけんしゅう じゅうじつ 〇市教委主催の教職員研修の充実について ・支援教育研修3回「個別の指導計画の作成と活用」、支援教育に おけるICT活用、 「通常の学級におけるインクルーシブ教育」 ・支援教育コーディネーター研修2回「計画的な校内支援体制の充実 に向けて～、「不登校の未然防止のための組織的な支援について」 ・小中学校初任者研修(2)「障害のある子どもの理解と支援」 ・市費負担教員研修(4)「支援教育から学ぶ学級づくり」 ・2年目小中学校教諭研修(4)「支援教育の充実に向けて」 ・5年目小中学校教諭研修(2)「通常の学級におけるインクルーシブ 教育」 ・小中学校10年経験者研修(3)「すべての子どもに「わかる・できる」を ～インクルーシブ教育の理念と実践～」 ・臨時研修「子どもの『今』を見つめる」講座第4回「学習の遅れによる 不安・学力格差の危機から子どもを守る！」	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
しきく きほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 障害のある児童等への教育の充実	ふくしじむしよ 福祉事務 所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	つうがくし えん じゅうじつ 通学支援の充実	ひとりでの通学が困難な児童を対象として、保護者の就労や病気療養等のやむを得ない理由がある場合に通学ガイドヘルパーを派遣し、通学の支援を行います。	ひとりでの通学が困難で、就労や病気療養等やむを得ない理由により、保護者が一定期間通学に付き添うことができない障害のある児童・生徒を対象に、通学ガイドヘルパーを派遣する障害児通学支援事業をじっし 実施しました。令和2年度の支給決定者は55名でした。	◎:当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	
	きょういくし えん 教育支援 しつ じどう 室(児童 せいとし えん 生徒支援 たんとう 担当)	そうだん じっし ほごしや 相談の実施と保護 者との連携	障害のある子どもの保護者への相談を行うとともに、保護者と学校の連携強化を図ります。	でんわ めんだん 電話や面談による教育相談を実施しました。また、保護者の相談を受けるとともに、必要に応じて、学校や関係機関との連携を図りました。	◎:当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	
(2) 教育相談、進路指導の充実	きょういくし えん 教育支援 しつ じどう 室(児童 せいとし えん 生徒支援 たんとう 担当)	しんろし どう じゅうじつ 進路指導の充実	関係機関との連携を強化しながら、卒業後の進路選択の幅が広がるよう、進路指導の充実を図ります。	がっつ 6月から10月にかけて、幼稚園、保育所等を訪問し、就学指導を実施しました。 ・障害のある幼児、児童、生徒の進路について、十分な情報を提供し、進路の支援に努めました。小中学校園で連携し、中学校区で全体指導計画を作成し、夢や志を持ち主体的に自らの生き方を考えさせることができました。 ・障害のある幼児・児童・生徒の理解と適切な指導の推進のため、支援学校や関係機関との連携を図りました。	◎:当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	

4. 生涯を通じて安心してできるサービスの確保と提供

1 地域生活への支援サービス

計画				令和2年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	目標達成度合	達成度合理 理由
(1) 障害福祉サービスの提供体制の確保と質の向上	福祉事務所(障害福祉担当)	訪問系サービス	様々な障害特性に応じて必要なサービス提供ができるよう、事業者と連携して、介護者の人材の資質の向上に努めます。	令和2年度の居宅介護の支給決定者数は972人、利用実績は301,419時間、重度訪問介護の支給決定者数は25人、利用実績は90,885時間、同行援護の支給決定者数は181人、利用実績は29,284時間、行動援護の支給決定者数は8人、利用実績は2,767時間でした。事業者連絡会と連携し、研修等を通じて介護人材の質の向上に取り組みました。	◎: 当該年度において目標達成(事業継続中)	
	福祉事務所(障害福祉担当)	短期入所サービス	事業所の新規開設や定員増等について事業者に働きかけます。また、緊急利用や医療ケアへの対応等様々なニーズに対応したサービスの確保に努めます。	令和2年度の支給決定人数は947人で、8,932日の短期入所の利用がありました。	◎: 当該年度において目標達成(事業継続中)	
	福祉事務所(障害福祉担当)	日中活動系サービス	利用者ニーズに応じたサービス提供の確保に努めるとともに、事業者の支援策として既存事業者の施設整備や定員増のほか、新たな日中活動の場の確保とこれを担う人材の育成に努めます。	日中活動系サービスの事業所を開設または定員の増加を行い、かつ障害福祉サービスの新規利用者を受入れた事業者に対し、「障害者日中活動系サービス新規利用者加算補助金」を、平成31年度は4事業所に交付しました。 本補助金事業は、障害者日中活動の場としての受け入れ促進を目的に平成24年度に創設した制度で、これまでに生活介護13事業所、自立訓練3事業所、就労移行支援4事業所、就労継続支援15事業所に交付し、当初の目的は一定達成されたものとして、平成29年度末をもって新規の交付を終了しました。(平成29年度までに交付決定した事業所に限り、経過措置として2年間は交付を実施し平成31年度末をもって制度を終了。)	☆: 最終目標を達成	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
しきく 基 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 障害福祉サービスの提供体制の確保と質の向上	ふくしじむしよ 福祉事務所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	グループホーム	じぎようしや たい しんき かいせ 事業者に対し、新規開設 つとう かか せいびほじょ うんえい 等に係る整備補助・運営 かか し えん おこな に係る支援を行い、グ るープホームの整備促進 を図ります。また、世話人 の養成講座を実施し、人 材の確保・育成に努めま す。	・市内にグループホームを新規に開設、又は定員を増加するための増 設をする事業を行う際に、枚方市グループホーム新規開設等整備補助 金を交付することにより、グループホームの整備を図るとともに、障害 者の地域移行促進を図りました。 交付実績:8事業所(新規開設) ・生活支援員が共同生活援助を行う住居に常駐し、又は巡回すること により行う日常生活上の援助のあった利用者の障害程度に応じて、枚 方市グループホーム運営費補助金を交付することにより、グループ ホームの運営安定化を図るとともに、障害福祉サービスの提供体制の 確保と質の向上を図りました。 交付実績:24事業所 ・例年2・3月に実施している「枚方市知的障害者グループホーム世話 人養成研修」については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点よ り事業所の実習受け入れが困難なため実施を見送りました。	◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	ふくしじむしよ 福祉事務所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	いどうしえん 移動支援	ぞうだい た よう か りようしや 増大し多様化する利用者 ニーズに対応するため、 ガイドヘルパー養成研修 を実施する等、人材の確 保・育成に努めるととも に、利用対象者の範囲や 利用目的を見直すなど、 制度の利便性向上に努 めます。	12月、3月に枚方市障害者ガイドヘルパー養成研修を実施し、74名に 修了書を交付しました。また、移動支援の令和2年度の支給決定人数 は2,044人、利用実績は176,057時間でした。	◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し ざく きほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	し ざく めい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 障 害 福 祉 サ ー ビ ス の 提 供 体 制 の 確 保 と 質 の 向 上	ふくしじむしょ 福祉事務 所(障害 いふくしたん 福祉担 とう当)	ち い きかつどうし えん 地域活動支援セン ター	がた た よう I 型は、多様なニーズに たい おう きよてん 対応するための拠点とし て各地域の障害者支援の ちゆうしんてきやわり きの う 中心的役割としての機能 を高めま。II 型・III 型 は、創作的活動、生産活 つどう こうりゆう ば とう しょうがいしや 動、交流の場等、障害者 の 日 中 活 動 の 場 と し て 、 けいかくてき せい び 計画的に整備を促進しま す。	ち い きかつどうし えん 地域活動支援センター I 型は6事業所、II 型は1事業所、III 型は1事 うしよ ひらかたしない ひらかたししょうがいしやちいきせいいかつしえんじぎょう 業所が枚方市内にあり、枚方市障害者地域生活支援事業として7法人 うんえい いたく に運営を委託しています。 III 型事業では、創作的活動、生産活動、社会との交流促進等を、II 型 じぎょう き の うくんれん しやかいてきおうくんれんとう くわ がたじぎょう 事業では、機能訓練や社会適応訓練等が加わり、I 型事業では、更に そうだんし えんじぎょう しやかいきばん れんけい はか 相談支援事業、社会基盤との連携を図るとともに、ボランティア育成や しょうがい たい り かいそくしん けいはつじぎょうとう じっし 障害に対する理解促進のための啓発事業等を実施しています。	とうがいねんど ◎: 当該年度に おいては目標達 せい じぎょうけいぞくちゆう 成(事業継続中)	
	ふくしじむしょ 福祉事務 所(障害 いふくしたん 福祉担 とう当)	にちじょうせいかつようぐ ほ 日常生活用具・補 装具	て き ぎ とりあつかいひんもく きゆうふ げ 適宜、取扱品目や給付限 んどがく み なお など しよ 度額を見直す等して、障 うがいしや せいかつじったい み あ 害者の生活実態に見合っ たサービス提供に努めま す。	た し じょうきょう かくにん 他市の状況を確認しながら、取扱品目の見直しをするなどして、障害 いしや せいかつじったい み あ ていきよう つと 者の生活実態に見合ったサービス提供に努めました。	とうがいねんど ◎: 当該年度に おいては目標達 せい じぎょうけいぞくちゆう 成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し ざく きほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	し ざく めい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 障害福祉サービスの提供体制の確保と質の向上	ふくしじむしょ 福祉事務所(障害 いふくしたん 福祉担当)	こうれいしやうがいしや にち 高齢障害者の日 じようせいかつしえん 常生活支援	こうれいしやうがいしや りよ 高齢障害者のサービス利 う かいごほけん ゆうせん 用は介護保険が優先です が、高齢視覚障害者への こうれいしかくしやうがいしや 同行援護や高齢知的障 うがいしや につくゆうかつどうけい 害者への日中活動系 サービスなど、介護保険 にはない障害特性に由来 する必要なサービスを提 供します。	しょうがいふくし りようしや なか かいごほけん しょうせん かた 障害福祉サービス利用者の中で介護保険サービスが優先される方を あらかじめ把握した上で、事前に介護認定の促しをおこない、切れ目な くサービスが受けられるように心がけ、また、介護保険サービスにない しょうがいふくし こころ しょうがいとくせい 障害福祉サービス固有のものや、障害特性によって障害福祉サービス での提供が適切と判断した方については、引き続き障害福祉サービス を提供しました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	ふくしじどう 福祉指導 かんさ か 監査課	ふくしじぎやうしや して 福祉事業者の指 い しどうかんとく 定・指導監督	していしやうがいふくし じぎ 指定障害福祉サービス事 業者等の指定・指導監督 等を行い、自立支援給付 対象サービス等の質の確 保及び自立支援給付の 適正化を図ります。	しよかん してい しょうがいふくし じぎやうしや どう たいしやう していじ けんしゅうどう 所管の指定障害福祉サービス事業者等を対象とした指定時研修等を 通じて、関係法令や制度の趣旨・目的、自立支援給付費にかかる算定 要件等について周知しました。集団指導については、新型コロナウイ ルス感染症拡大防止の観点から中止しましたが、資料をホームページ に掲載するとともに、事業者に周知しました。 また、個別の事業所に対して実施した実地指導も、新型コロナウイルス 感染症拡大防止の観点から、実施した件数は少なくなりましたが、特に 確認が必要な事業所に対して、指定基準及び報酬基準に沿った適切 な運営・報酬算定が行われているか等の確認や改善指導等を行いま した。	とうがいねんど ○:当該年度に おいては未達成 だが目標達成に む しんこうけいぞく 向けて進行継続 中(達成に見込 み有り)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
しきく ぎほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(2) 多様な手法によるコミュニケーション支援	ふくしむじむしよ 福祉事務所(障害 いふくしたん 福祉担当)	かくしゅようせいこうざ 各種養成講座の じっし 実施	しゅわ ようやくひっき てんやく お 手話・要約筆記・点訳・音 んやもう こうしゅうかい じっし 訳等の講習会を実施し、 ほうし いん すその ひろ 奉仕員の裾野を広げ、ま ゆうしかくしゃ かくだい めざ た、有資格者の拡大も目 指します。	しゅわこうしゅうかい [手話講習会] しゅわ こうざ [手話ステップアップ講座] てんやくこうしゅうかい [点訳講習会] しんがた かんせんしろう かくだいぼうし きんきゅうじたいせんげん か ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止および緊急事態宣言のため開 いさいちゅうし 催中止となりました。 おんやくこうしゅうかい [音訳講習会] しんがた かんせんしろう かくだい ぼうし きんきゅうじたいせんげん ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止および緊急事態宣言のため5 かい じっし しゅうりょう いた 回まで実施し修了に至りませんでした。 じ ね ん ど かいさいとき み しゅうりょう じゅうせい ゆうせんほしゅうよてい (次年度開催時未修了の受講生を優先募集予定。)	とうがいねんど ○:当該年度に おいては未達成 もくひようたっせい だが目標達成に む しんこうけいぞく 向けて進行継続 ちゅうたっせい み こ 中(達成に見込 あ み有り)	
	ふくしむじむしよ 福祉事務所(障害 いふくしたん 福祉担当)	しゅわつうやくしゃ ようやく 手話通訳者・要約 ひっきしゃとう はけん 筆記者等の派遣	りようしゃ おう 利用者のニーズに応じ しゅわつうやくしゃ ようやくひっ て、手話通訳者・要約筆 きしゃとう はけん 記者等を派遣します。ま とうろくしゅわつうやくもの た、登録手話通訳者のス キルアップを図るための げんにんけんしゅう じっし 現任研修を実施します。	ようやくひっきつうやくじぎょう ・要約筆記通訳事業 はけんけんすう けん はけんじかん じかん 派遣件数5件 派遣時間56.5時間 しゅわつうやくはけんじぎょう ・手話通訳派遣事業 はけんけんすう けん はけんじかん じかん 派遣件数1,181件 派遣時間1,893時間 とうろくしゅわつうやくしゃげんにんけんしゅう ・登録手話通訳者現任研修 かいじっし さいだい にん じゅう 8回実施し、最大22人が受講されました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 せい じぎょうけいぞくちゅう 成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
しきく ぎほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	とく 取り組み	とく ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(2) 多様な手法によるコミュニケーション支援	こうほう 広報プロ モーショ ン課	てんじ おんせい しゅわ 点字・音声・手話 による情報提供	こうほう ひらかた し ぎ 広報ひらかた、枚方市議 かいほう ほけん べんり 会報、保健センター便利 ちよう し せ いじようほう てんじ 帳など市政情報を点字・ おんせい ていきよう 音声で提供します。 し しゅさいじぎよう 市主催事業について、手 わ つうやくしゃ せっち はたら 話通訳者の設置を働きか けます。 また、市のホームページ について、音声ガイドを設 けるなど、ユニバーサル デザインの充実を図りま す。	こうほう てんじ おんせい ていきよう おんせいよ あ かのう た 広報ひらかたを点字・音声で提供したほか、音声読み上げが可能な多 げんご たいおう どうにゆう こうほう はいしん 言語対応アプリを導入し、広報ひらかたを配信しました。また、市の ホームページでは音声ガイドを設けるなどユニバーサルデザインの充 うじつ はか 実を図りました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	ちいきけんこうふ 地域健康 くししつ 福祉室 ほしほ (母子保 けんたんとう 健担当)			けんこうべんりちよう てんやく ろくおんばん さくせい たいしようしゃ ていきよう 「ひらかた健康便利帳」の点訳・録音盤を作成し、対象者へ提供しまし た。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	

計画				令和2年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	目標達成度合い	達成度合理的 理由
(2) 多様な手法によるコミュニケーション支援	福祉事務所(障害福祉担当)	点字・音声・手話による情報提供	広報ひらかた、枚方市議会報、保健センター便利帳など市政情報を点字・音声で提供します。 市主催事業について、手話通訳者の設置を働きかけます。 また、市のホームページについては、音声ガイドをもう設けるなど、ユニバーサルデザインの充実を図ります。	令和2年度に開催した、(仮称)枚方市手話言語条例策定審議会においては会議において手話通訳者を配置しました。枚方市社会福祉審議会障害福祉専門分科会では、手話通訳者に加えて、拡大文字による資料の作成も行いました。 また、本市ホームページに新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる市長の緊急メッセージを掲載した際には手話通訳者の動画を併せて掲載しました。	◎:当該年度においては目標達成(事業継続中)	
	市議会事務局			前年度と同様に、令和2年度も枚方市議会報の内容を全文掲載した点字・声の議会報を発行し、すべての希望者に配布するとともに、枚方市議会報と市議会ホームページで点字・声の議会報のPR文を掲載しました。また、声の議会報の音声データについても引き続き市議会ホームページで公開しました。 手話通訳者の配置については、令和2年度は1件依頼がありました。今後も枚方市議会報や市議会ホームページで周知を図ります。	○:当該年度においては未達成だが目標達成に向けて進行継続中(達成に見込み有り)	
	福祉事務所(障害福祉担当)	重度障害者入院時コミュニケーション支援	重度訪問介護の支給決定を受けており、コミュニケーション支援が必要な重度の障害者が入院した場合、医療機関との意思疎通を円滑に図ることができるよう支援します。	入院時のコミュニケーション支援のニーズに対応するため、より多くの障害者が安定した入院生活を送ることができるよう、令和元年10月に本事業の要綱を改正し、対象者を拡大しました。令和2年度の利用者は0名でした。	◎:当該年度においては目標達成(事業継続中)	

2 保健・医療

計画				令和2年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	目標達成度合	達成度合理 理由
(1) 保健事業の推進	地域健康 福祉室 (健康増 進・介護 予防)	健康相談事業の 推進	生活習慣病や日常の健康 管理などについて、保 健師や管理栄養士などの 専門職員による指導や助 言を行います。	保健センターで月1回(定例)実施の他、必要に応じて随時実施しまし た。	◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	地域健康 福祉室 (健康増 進・介護 予防)	訪問指導事業の 推進	保健師・理学療法士・作 業療法士・管理栄養士・ 歯科衛生士などの保健セ ンターの専門スタッフによ る訪問指導事業に取り組 みます。	必要に応じ、保健師、理学療法士、作業療法士、栄養士による訪問指 導を実施しました。	◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	地域健康 福祉室 (健康増 進・介護 予防)	健康教育事業の 推進	生活習慣病の予防や健 康の保持・増進が図れる よう、健康に関する正しい 知識を普及する健康教育 事業に取り組みます。	保健センターや、出前講座などの依頼により地域に出向いて、健康に 関する講座を実施しました。	◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
しきく 基 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合い	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 保 健 事 業 の 推 進	ちいきけんこう 地域健康 ふくしつ 福祉室 けんこうぞう (健康増 進・介護 予防)	こうくほけん すいしん 口腔保健の推進	しょうがいしゃ じ にゆうしょ つうしょ 障害者・児の入所・通所 せつ ていきてき し か けんこう 施設で定期的に歯科健康 しんさ こうくうせいせいし どう 診査や口腔衛生指導が じっし かんきょうせいび 実施できるよう環境整備 つと など しょうがいしゃ じ に努める等、障害者・児 こうくう こうくうきのう の口腔ケアや口腔機能の こうじよう はか 向上を図ります。	しょうがいしゃ じ にゆうしょ つうしょせつ しせつ で も し か けんこうしんさ ・障害者(児)の入所・通所施設19施設に出向き、歯科健康診査およ こうくうせいせいし どう おこな きほうしせつ たい しせつしよくいん び、口腔衛生指導を行いました。また、希望施設に対して、施設職員や つうしょ にゆうしょしゃ たい けんこうきょういく し どう じっし 通所・入所者に対し、健康教育やはみがき指導を実施しました。 にゆうようじけんこうしんさ らいしよ いりょうてき じ どう しょうがいじ し か け ・乳幼児健康診査に来所できない医療的ケア児等の障害児に、歯科健 んこうしんさ きかい もう こべつ ほうもんしかけんこうしんさ にん じっし 康診査の機会を設けるため個別にて訪問歯科健康診査(9人)を実施し ました。	どうがいねんど ◎:当該年度に もくひようたっせいど あい おいては目標達 せい じぎょうけいぞくちゆう 成(事業継続中)	
	ほ けん よぼうか 保健予防 課	なんびようかんじや りょうよう 難病患者の療養 しえん 支援	していなんびようかんじや かぞく 指定難病患者とその家族 ざいたくりょうようし えん もくてき の在宅療養支援を目的に ほ けん し せんもんしよく そう 保健師や専門職による相 だんじぎょう ほうもんし どうじぎょう 談事業、訪問指導事業、 いりょうこうえんかい かんじや かぞくこう 医療講演会、患者家族交 りゅうかいとう じっし 流会等を実施します。ま し えん なんびよう た、支援スタッフの難病に かん ちしき りかい そくしん 関する知識・理解の促進 し えん ぎじゆつ こうじよう はか や支援技術の向上を図る ため、関係機関等に研修 かんけいき かんどう けんしゆ 会を実施します。	せんもんしよく そうだんじぎょう かいじっし そうだんの けんすう けん ほうもん 専門職による相談事業を25回実施し、相談延べ件数は45件(うち訪問 のべけんすう けん ほ けん し ほうもんけんすう けん 延件数25件)でした。保健師の訪問件数は127件でした。 いりょうこうえんかい かんじや む がくしゅうそうだんかい かんじやかぞくこうりゅうかい かんけいきかんどうへの 医療講演会(患者向け学習相談会)、患者家族交流会、関係機関等へ けんしゅうは しんがた かんせんしゅう えいきょう かいさい の研修は新型コロナウイルス感染症の影響で開催できませんでした。	どうがいねんど ○:当該年度に み たっせい おいては未達成 もくひようたっせい だが目標達成に む しんこうけいぞく 向けて進行継続 ちゅう たっせい み こ 中(達成に見込 あ み有り)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し さく きほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	し さくめい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 保 健 事 業 の 推 進	ほ けん いりよう 保健医療 か 課	せいしんしつかんかんにや 精神疾患患者に たい そうだんたいせい 対する相談体制の じゅうじつ 充実	せいしんしつかん ゆう もの 精神疾患を有する者、ま たは うたが もの 疑いがある者または その家族に対して、精神 科医や臨床心理士、精神 保健福祉士、保健師等に よる相談を実施します。精 神疾患の早期発見、早期 治療の推進等に向けた相 談を行います。	れいわ ど そうだんけんすう の 令和2年度の相談件数は延べ2,825件であり、うち訪問については延べ 486件実施しました。精神疾患の早期発見・早期治療を目的とした相談 については、受療支援が延べ90件(うち訪問23件)、精神科医師による 診断・判定が延べ18件でした。また、症状の再燃や悪化を防ぐための 治療継続支援については、延べ103件の相談を実施しました。 保健所で実施している精神保健相談については、相談件数は前年度 より減少していますが、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動 への影響により、雇用や暮らし、うつやアルコール問題など健康問題 の悪化による相談が断続的に続いています。また平成27年度より開設 している『こころの健康相談ダイヤル』(専用回線にて実施)について は、令和2年度においては、延べ1,399件となっています。本回線に 入った相談においても、内容により早急に精神保健相談として対応す ることが必要なものについては、相談者の同意を得て保健所にて相談 を受け、早期発見・治療に向けた支援を開始することが出来ていま す。今後も引き続き、保健所の相談支援について周知を図ると共に、 早期発見・治療に向けた支援を実施します。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し ざく きてい 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	し ざく めい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(2) 医療機関との連携	ほ けん いりよう 保健医療 か 課	ざいたくいりようたいせい 在宅医療体制の じゅうじつ 充実	ひらかたし ない さん し かい いしかい 枚方市内の三師会(医師 し か い し かい やくざいし 会・歯科医師会・薬剤師 かい ほうもんかん ごと 会)や訪問看護ステーションと連携し、在宅医療体制の充実に取り組みます。障害児の在宅・療養支援の充実強化を目的とし、関係機関・団体との意見交換や重要事項の連絡または関係団体間の連絡調整を図るため、母子保健推進連絡会を実施します。	しんがた かんせんしやう えいきやう けんいき かくし ざいたくいりよ 新型コロナウイルス感染症の影響により、圏域の各市における在宅医療及び介護連携推進事業の現状を共有し、在宅医療の連携に係る取り組みについて意見交換を行う会議(「北河内在宅医療懇話会」)は開催されませんが、今後も在宅医療提供体制について取り組みと現状の課題、今後の在宅医療提供体制の整備等について会議等を行う予定です。	とうがいねんど ○:当該年度に おいては未達成 だが目標達成に むくひようたっせい むくひようたっせい 向けて進行継続 中(達成に見込み有り)	
	ちい けんこうふ 地域健康 く し しつ 福祉室 ほしほけん (母子保 たんとう 健担当)			しんがた かんせんしやうたいおう かいさい ちゅうし ほうこくしりよう そうふ 新型コロナウイルス感染症対応のため、開催を中止し報告資料を送付しました。 【送付日】令和3年3月22日 【送付機関数】9機関	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	
	ふくしじむしよ 福祉事務 しょうが 所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	しょうがいしやし か しんりよう 障害者歯科診療	ひらかたし し か い し かい れんけい 枚方市歯科医師会と連携し障害者の歯科診療の受診機会をさらに増やすなど診療体制の充実に努めます。	ひらかたしきゆうじつしかきゆうびやうしんりようじよ ほけん ない まいしゅうもくようび つき かい 枚方市休日歯科急病診療所(保健センター内)で、毎週木曜日と月2回の土曜日の午後1時～5時に診察を実施し、よって障害者等の歯科診療の機会の確保を図りました。 れいわ ねんど の にんじゅしん 令和2年度:延べ672人受診	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
しやく きてい 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	とく ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(2) 医療 機 関 の 連 携	ほ けんよぼうか 保健予防 課	ざいたくなんびようかんじや 在宅難病患者的の ち いきりよう 地域医療	なんびようかんじや か ぞく あんしん 難病患者・家族が安心して ざいたくりようよう ち いき て在宅療養ができる地域 と り く さん づくりに取組むために、難 びようせんもんい 病専門医、かかりつけ い ち い き いりようかんけいしよくしゆ 医、地域の医療関係職種 とう れんけい きようか いりよう 等の連携を強化し、医療 こうちく ネットワークを構築しま す。	けんこういりようとし 健康医療都市ひらかたコンソーシアム連携事業「枚方市難病対策分野 なんびよう ぶかいじつむしやかいぎ かいさい ち いきりよう かだいなど 難病ネットワーク部会実務者会議」を開催し、地域医療の課題等につ いて検討しました。又同部会において医師会、歯科医師会、薬剤師 けんとう またどうぶかい いし かい し かい し かい やくざいしか 会、訪問看護ステーションに向けて、なんびようしんりよかんけいしよくてんびよういん 会、訪問看護ステーションに向けて、難病診療連携拠点病院である関 んさいいかだいがくふぞくびよういん ほけんしよ もと やくわり 西医科大学附属病院や保健所に求める役割についてアンケート調査 じつし を実施しました。	とうがいね んど ○：当該年度に おいては未達成 もくひようたっせい だが目標達成に む しんこうけいぞく 向けて進行継続 ちゆうたっせい み こ 中（達成に見込 あ み有り）	
	ふくしむじよ 福祉事務 所（障害 しょうが いふくしたん 福祉担 とう 当）	びよういん ち い きいこ 病院からの地域移 う 行	ひらかたしじりつしえんきようぎかいせいしん 枚方市自立支援協議会 しょうがいしゃちいきせいかつしえんぶかい 精神障害者地域生活支 援部会において医療機関 いりようきかんとう 等と連携し、退院促進に う れんけい たいいんそくしん と取り組みます。	ひらかたしじりつしえんきようぎかいせいしんしょうがいしゃちいきせいかつしえんぶかい れいねんじつし 枚方市自立支援協議会精神障害者地域生活支援部会が例年実施し ひらかたしない せいしんかびようしょう きょうりょくいりようきかん しよ ちようきにゆういん てきた枚方市内の精神科病床のある協力医療機関3か所に長期入院 を している患者等への 訪問面接について、しんがた かんじやとう ほうもんめんせつ しんがた の感染拡大を受けて、要支援者への感染防止や医療機関における感 かんせんかくだい う ようしえんしよ かんせんぼうし いりようきかん か んせかいさく じじょうとう こうりよ ちゆうし 染対策などの事情等を考慮し、中止としました。	か だい △：課題があり、 もくひようたっせい む 目標達成に向け と く み て取り組みの見 な お とう ひつよう 直し等が必要	しんがた 新型コロナウイルス かんせんしやう イルス感染症 かんせん ぼうし の感染防止 たいさく ぼうし 対策として、 にゆういんちゆう 入院中の かたがた めんかい 方々との面会 せいげんとう 制限等があつ たため。

5. 就労支援の充実と社会参加の促進

1 一般就労への支援

計画				令和2年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	目標達成度合	達成度合理 理由
(1) 障害者の雇用機会の創出	福祉事務所(障害福祉担当)	障害者合同就職面接会	ハローワーク枚方や枚方市障害者就業・生活支援センターと連携して、求人に向けた企業開拓に取り組むとともに「障害者合同就職面接会」を開催します。	企業開拓については、ハローワーク枚方や枚方市障害者就業・生活支援センターが中心となって進めるなど、新たな雇用を目指した取り組みを行いました。また、毎年1回開催している「障害者合同面接会」を、令和3年1月に開催し、この面接会による就職が実現しました。	◎:当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	
	福祉事務所(障害福祉担当)	一般企業等への啓発	ハローワーク枚方や枚方市障害者就業・生活支援センターと連携して、障害者の雇用について、一般企業等への啓発に努めます。	枚方市障害者就業・生活支援センターが中心となって市内の障害者の就労支援機関と連携し、企業に出向いて啓発活動を実施しています。また、枚方市自立支援協議会就労支援部会やハローワーク枚方、枚方市障害者就業・生活支援センターと連携して、一般企業等への啓発に取り組みました。	◎:当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	
	福祉事務所(障害福祉担当)	職場体験機会の提供	本市での「庁舎内実習」のほか、一般企業等における職場実習を実施して、障害のある方の職業体験機会の提供に取り組んでいます。	庁舎内実習は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言解除後に、実習生を受け入れました。また、一般企業等においても、ハローワーク枚方や枚方市障害者就業・生活支援センターが中心となって実習の受け入れを呼びかけており、職業体験機会の拡大に取り組んでいます。	◎:当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し ざく ぎほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	し ざく めい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 障害者の雇用機会の創出	じん じ か 人事課	チャレンジ雇用 障害のある方への 就労支援	しょうがい かのた いっていきかん 障害のある方を一定期間 ほんししよくいん ちよくせつこよう 本市職員として直接雇用 する「チャレンジ雇用」制 度により、就労に向けた 支援を平成30年度から実 施します。	しょうがい かのた りん じしよくいん げつていどたんきこよう など けんしやう 障害のある方を臨時職員として1か月程度短期雇用する等の検証によ る実績を踏まえ、将来の就労に向けた更なる支援として、平成29年度 から「チャレンジ雇用」を実施しています。直近では、令和3年2月に採 用試験を実施し、令和3年4月に6名を雇用しました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	ふくしじむしよ 福祉事務 所(障害 福祉担 当)			へいせい ねんど 平成29年度からチャレンジ雇用を開始し、これまでに障害のある方を 計10名、非常勤職員として雇用して支援を行いました。体調不良など のため退職となった方もありましたが、その中から、2名の方について 民間企業への就職が実現しました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	じん じ か 人事課	市職員への雇用	ほんし もくひよう かのた しょうが 本市が目標に掲げる障害 者雇用率3%の実現に向 けて、職員採用試験にお いて障害者枠を設けると ともに、非常勤職員等の 採用についても同様に取 り組んでいきます。	れいわ ねんど しょうがいしやこようりつ しぜんたい 令和2年度の障害者雇用率は市全体で2.97%であり、目標に掲げる3% が未達の状態です。雇用率向上を見据え、障害者の社会進出、雇用 促進を目的に、引き続き、事務員の区分に障害者枠を設けて職員採用 試験を実施しましたが、合格者なしでした。次年度以降も障害者枠での 職員採用試験を実施していきます。	とうがいねんど ○:当該年度に おいては未達成 だが目標達成に 向けて進行継続 中(達成に見込 み有り)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し ざく ぎほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	し ざく めい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(2) 一般就労に向けた相談・支援体制の充実	ふくしじむしょ 福祉事務所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	しゅうろうそうだんおよ しょ 就労相談及び職 くばていちやえん 場定着支援	ひらかたししょうがいしゃしゅうぎょう せいかつ 枚方市障害者就業・生活 し えん じく 支援センターが軸となっ て、ハローワーク等の関 んけい かん きぎょう 係機関や企業との連絡調 うせい すず 整を進めながら、就業、社 かいせい かつじょう そうだん し えん 会生活上の相談支援や しよくばていちやく し えん 職場定着のための支援に と く 取り組みます。	ひらかたししょうがいしゃしゅうぎょう・せいかつし えん 枚方市障害者就業・生活支援センターが中心となって、関係機関で構 せい じつむたんとうしゃかいぎ つき かいさい しょうがいしゃ しゅうろう む ぎろん おご 成する実務担当者会議を月1回開催し、障害者の就労に向け議論を行 うとともに、合同就職面接会等、一般就労に向けた取り組みを実施しま した。 また、ひらかたしじりつし えんきょうぎかい しゅうろうし えんがかい し ない しょうがいしゃじぎょうしよ 枚方市自立支援協議会就労支援部会では市内の障害者事業所 たいしょう れんらくかい た あ しゅうろうし えんいん を対象に連絡会を立ち上げ、就労支援員のスキルアップ向上を目的と したセミナーや事例報告会を開催しました。	とうがいね んど ◎:当該年度に おいては目標達 せい じぎょうけいぞくちゅう 成(事業継続中)	
	しょうこうしんこう 商工振興 か 課	ち い きしゅうろうし えん 地域就労支援セン ター	しゅうろうい よく 就労意欲がありながら、 しょうがいとう しゅうろう こん 障害等のために就労が困 なん ほう たいしように しゅうろう 難な方を対象として就労 そうだん 相談のほか、各種就労支 ん じっし しゅうろう 援セミナーを実施し、就労 む し えん と く に向けた支援に取り組み ます。	ちいきしゅうろう し えん ちゅうこうねんれいしや ぼしかてい ははおや ふしかてい 地域就労支援センターでは、中高年齢者、母子家庭の母親、父子家庭 ちちおや しょうがいしや しゅうろうこんなんしや そうだん う そうだん ないよう おう の父親、障害者など就労困難者の相談を受けており、相談の内容に応 じて他の就労支援機関や庁内の関係課と連携し、就労に向けた支援を けいぞく おこな 継続して行っています。	とうがいね んど ◎:当該年度に おいては目標達 せい じぎょうけいぞくちゅう 成(事業継続中)	

2 就労に向けた支援と福祉的就労の環境整備

計画				令和2年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	目標達成度合	達成度合理 理由
(1) 就労支援機関との連携強化	福祉事務所(障害福祉担当)	日中活動系サービス	利用者ニーズに応じたサービス提供の確保に努めるとともに、既存事業所の施設整備や定員増のほか、新たな日中活動の場の確保と、これを担う人材の育成等事業者の支援施策を講じます。	日中活動系サービスの事業所を開設または定員の増加を行い、かつ障害福祉サービスの新規利用者を受け入れた事業者に対し、「障害者日中活動系サービス新規利用者加算補助金」を交付しました。 交付実績:生活介護事業所 1事業所 自立訓練事業所 1事業所 就労継続支援A型事業所 2事業所 本補助金事業は、障害者日中活動の場としての受け入れ促進を目的に平成24年度に創設した制度で、これまでに生活介護13事業所、自立訓練3事業所、就労移行支援4事業所、就労継続支援15事業所に交付し、当初の目的は一定達成されたものとして、平成29年度末をもって新規の交付を終了し、令和元年度末をもって制度を終了しました。	☆:最終目標を達成	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し ざく ぎほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	し ざく めい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(2) 工賃向上に向けた支援	ふくしじむしょ 福祉事務所 (障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	しょうがいしゃ こうちん か 障害者の工賃改 いぜん 善	ふくし 「福祉バザー」、「ふれあい フェスティバル」や総合福祉 かいかん し えき 会館や市駅ふれあいコー ない はんばい どう ナー内の販売コーナー等、 じゅさんひん はんそくかつどう けいぞ 授産品の販促活動に継続 くてき と く 的に取り組んでいます。授 さんひん はんろ かいたく 産品の販路を開拓し、また、 せいさんぎじゆつ こうじよう 生産技術を向上させること しょうがいしゃ ぐくししせつ しゅうえ で、障害者福祉施設の収益 きりよくきょうか さぎよう 力を強化し、そこで作業する しょうがいしゃ こうちん 障害者の工賃アップのため しえん と く の支援に取り組めます。 きょうどうじゅちゆう かた 共同受注センターのあり方 けんきゆう について研究していきます。	しょうがいしゃ しゅうろうしえん こうちん こうじよう もくてき ふくし 障害者の就労支援と工賃の向上を目的に「福祉バザー」、「ふれあい フェスティバル」や「ラポールひらかた」、「ひらかた観光ステーション」内 はんばい すがわらしょうがいぐくしゆう の販売コーナー、「菅原生涯学習センター」、「ラポールひらかた」内の きっさ じゅさんひん いんしよくぶつ はんばいそくしん けいぞくてき じっし 喫茶コーナーにて授産品や飲食物の販売促進を継続的に実施してい ます。加えて、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受 け、市役所別館北側において、週2回、食品の販売スペースを設けるこ とで、販路を失った事業所を支援しました。 また、就労支援事務局連絡において、複数の事業所が共同受注・優先 ちょうたつ さん か きょうどうじゅちゆう けんきゆう 調達ワーキングチームに参加し、共同受注センターについて研究を おこな けっか れいわがんねんど きょうどうじゅちゆう けんきゆう 行った結果、令和元年度から「ひらかた共同受注・優先調達ネットワ た あ かつどう おこな ーク」を立ち上げ、活動を行っています。	どうがいねんど ◎: 当該年度に おいては目標達 せい じぎょうけいぞくちゆう 成(事業継続中)	
	ふくしじむしょ 福祉事務所 (障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	ゆうせんちようたつほうしん 優先調達方針に もと しょうがいしゃしゅうろう 基づく障害者就労 うしせつとう ぶつびん 施設等からの物品 とう ちようたつ 等の調達	ゆうせんちようたつほうしん もと 優先調達方針に基づき、 しょうがいしゃしゅうろうしせつとう 障害者就労施設等からの ぶつびんとう ちようたつ そくしん 物品等の調達を促進しま す。	へいせい ねん がつ しょうがいしゃゆうせんちようたつすいしんほう しこう 平成25年4月より障害者優先調達推進法が施行されたことを受け、市 くしょ しないきぎょう いっぱんしみんとう はつちゅうかのう しょうがいふくし 役所をはじめ、市内企業、一般市民等が発注可能な障害福祉サービ じぎょうしよ と あつか ぶつびん けいさい しょうひん ス事業所で取り扱っている物品やサービスを掲載した商品カタログを さくせい かくぶしよ こうにゆう よ しょうがいしゃしゅうろうしせつとう じゅちゆう 作成し、各部署に購入を呼びかけることで、障害者就労施設等の受注 うきかい ぞうだい はか しょうがいしゃしゅうろうしせつとう じゅちゆう 機会の増大を図りました。なお、カタログについては、これまでに2度、 かいてい おこな 改訂を行っています。	どうがいねんど ◎: 当該年度に おいては目標達 せい じぎょうけいぞくちゆう 成(事業継続中)	

3 多様な学習や余暇活動への支援

計画				令和2年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	目標達成度合	達成度合理 理由
(1) 生涯学習の推進	文化生涯 学習課	社会参加・自立を 助ける学習活動	生涯学習事業など、様々な 場面で学習機会を提供 するとともに、障害者の主 体的な学習を支援しま す。	各生涯学習市民センターにおいて、障害者(関係)団体に対し、施設の 早期予約受付、利用料減免、優先利用可の部屋を設けることなどによ り、障害者の活動の機会を広く提供しました。 また、点字版のセンター案内のリーフレットを設置しています。	◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
	教育政策 課			令和3年3月28日に開催した枚方市成人祭「はたちのつどい」におい て、聴覚障害者への支援として市長および議長からのビデオレターや 新成人メンバーからのメッセージ動画に字幕スーパーを挿入し、式典 会場やホームページで放映しました。また、希望に応じて手話通訳者を 配置できる体制をとるとともに、視覚障害者に対しても全19会場に点字 版のプログラムを準備しました。 社会教育事業として行う各講座においても、希望する聴覚障害者に対 して手話通訳者や要約筆記者を確保する体制をとりました。	◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
(2) 文化・芸術活動への 支援	文化生涯 学習課	文化・芸術活動の 支援	障害者の生きがいづくり と、様々な世代にわたっ て交流を深めていけるよ う、各種の文化・芸術活動 を支援します。	生涯学習市民センターのロビー等のスペースに、創作活動の発表の場 を設け、障害者(関係)団体を含め、広く市民による展示・発表の機会 の場を提供しています。	◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	

計 画				令和2年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	と 取 組 み	と 取 組 み 内 容	目標達成度合	達成度合理 な理由
(2) 文化・芸術活動への支援	中央図書館	図書館サービス	大活字図書、点字・録音資料、手話・字幕付き映像資料を充実し、対面読書サービスや手話で楽しむおはなし会等バリアフリー行事を実施します。	大活字図書を277冊購入、録音図書(デージー図書)を36タイトル製作・購入するなど、資料の充実を図りました。また、対面読書を全館で77回実施しました。行事は、「手話でたのしむおはなし会」を中央図書館で7回開催(参加者延べ79人)。「手話ブックトーク」を1回開催(参加者13人)。学習障害講演会「読字障害(発達性ディスレクシア)の診断と療育―注意欠陥多動症と自閉症スペクトラム障害に高い頻度で併存 早期診断と合理的な配慮、特にICTを活用した支援の重要性」を1回開催しました(参加者40人)。 ※新型コロナウイルス感染防止のため、換気や換気、飛沫防止策が取れない分館での対面読書や「手話でたのしむおはなし会」「手話ブックトーク」なども中止しました。	◎: 当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	
	健康福祉総務課	スポーツ・レクリエーション活動の推進	風船バレーや卓球等のスポーツ事業を定期的に実施し、障害者にスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、卓球、ポッチャ、フライングディスク等、利用者ニーズの高い種目を選んで、スポーツ・レクリエーション教室を開催します。	ラポールひらかた温水プールにおいて、障害者(児)、障害児親子を対象にした水泳教室等の開催を予定しておりましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響等により、開催できませんでした。 平成29年度 7教室、平成30年度 7教室、令和元年度 7教室	○: 当該年度に おいては未達成だが目標達成に向けて進行継続中(達成に見込み有り)	
(3) スポーツ・レクリエーション活動への支援	福祉事務所(障害福祉担当)			ニーズの高い卓球教室、ポッチャを実施し、令和2年度は765人の方が参加されました。	◎: 当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	

計 画				令和2年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	目標達成度合	達成度合理 由
(3) スポーツ・レクリエーション活動への支援	スポーツ 振興課	スポーツ・レクリ エーション活動の 推進	ふうせん たつきゅう 風船バレーや卓球等のス ポーツ事業を定期的に実 施し、障害者にスポーツ を楽しむ機会を提供する とともに、卓球、ポッチャ、 フライングディスク等、利 用者ニーズの高い種目を 選んで、スポーツ・レクリ エーション教室を開催しま す。	そうごうたいいくかん なぎさしみんたいいくかんおよ い か が 総合体育館、渚市民体育館及び伊加賀スポーツセンターにおいて、障 害者スポーツの日を設け、障害者スポーツの普及の支援を行いました。 また、令和2年度についても、誰もが一緒にスポーツできる事業と して、車いすバスケットボール体験を行う予定でしたが新型コロナウイ ルス感染拡大防止の観点から中止となりました。 しょうがいしや *障害者スポーツスクエア そうごうたいいくかん の にん つき かいかいさい [総合体育館] 延べ56人 月1回開催 い か が たいいくかん の にん つき かいかいさい [伊加賀体育館] 延べ74人 月1回開催 しょうがいしや *障害者ふれあいスポーツDAY なぎさしみんたいいくかん の にん つき かいかいさい [渚市民体育館] 延べ18人 月1回開催 くるま *車いすバスケットボール体験 なぎさしみんたいいくかん ちゅうし [渚市民体育館] 中止	○:当該年度に おいては未達成 だが目標達成に 向けて進行継続 中(達成に見込 み有り)	
	スポーツ 振興課	しょうがいしや か 障害者スポーツ活 動への支援の充 実	しりつそうごう 市立総合スポーツセン ター等での、障害者のス ポーツ環境の整備を図る とともに、障害者のレクリ エーション活動等の支援 に努めます。	たいおう せつち あんしん りよう かんきよう せいび オストメイト対応トイレを設置し、安心して利用できる環境を整備してい ます。 そうごうたいいくかん だんし しょ 総合体育館:男子1か所 い か が たいいくかん だんし しょ じょし しょ 伊加賀体育館:男子1か所 女子1か所 なぎさしみんたいいくかん だんじょけんよう しょ 渚市民体育館:男女兼用1か所	○:当該年度に おいては未達成 だが目標達成に 向けて進行継続 中(達成に見込 み有り)	

6. 身近でわかりやすい相談窓口の充実ときめ細かな情報提供

1 相談・支援体制

計画				令和2年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	目標達成度合	達成度合理 由
(1) 相談・支援の充実	福祉事務所(障害者福祉担当)	障害者の相談支援体制	障害者からの相談に応じ、必要な情報提供および助言、サービスの利用など関係機関と連携しつつ、地域の社会資源を活用し必要な援助を行います。また、センター間の連携の機能強化を行い、より専門的な対応ができるように、相談支援センターの体制の充実を図ります。	障害者地域生活支援事業として、6法人を相談支援センターとし、相談支援事業を委託しています。福祉サービスの利用援助、社会資源を活用するための援助や支援等を委託内容とし、そのうち2法人はピアカウンセリングを行うなど、利用を希望する障害者に対応しています。また、そのうちの3法人については、基幹相談支援センターとして位置付け、身体・知的・精神障害者等に対応した総合的な相談支援の窓口の設置や、特定相談支援事業所及び一般相談支援事業所が困難と感じる事例への後方支援などを行うことで、センター間の連携の機能強化を行い、より専門的な対応ができるよう相談支援センターの体制の充実に努めました。 新たに相談支援センター機能を併せ持つ地域活動支援センターⅢ型1か所について、令和3年4月の開設に向け、事業者の公募、選定等の準備を行いました。 また、障害者差別解消法の施行に伴い設置された、枚方市障害者差別解消支援地域協議会事務局会議において、相談事業の協議を行いました。	◎:当該年度においては目標達成(事業継続中)	
	福祉事務所(障害者福祉担当)	ひらかたしじりつしえん枚方市自立支援協議会	相談支援センターをはじめ、地域の関係機関が集まり、障害者が自立した地域生活を営む上で必要となるサービス基盤や人材社会資源の確保などについて検討を行います。	毎月、枚方市自立支援協議会幹事会を開催し、各部会の報告や今後の取り組みについて協議を行うほか、障害者計画(第4次)及び障害者福祉計画(第6期)、障害児計画(第2期)策定にあたって、本幹事会をワーキングチームと位置づけ、様々な議論を行いました。毎年度開催することとしている枚方市自立支援協議会については令和2年度も新型コロナウイルス感染症対策のため延期となりました。	○:当該年度においては未達成だが目標達成に向けて進行継続中(達成に見込み有り)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
しきく きほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しきくめい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 相談・支援の充実	ふくしむしよ 福祉事務所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	びよういん にゆうしよせつ 病院、入所施設か らの地域移行	たいいん たいしよ 退院・退所した障害者が ちい き じりつ せいかつ おく 地域で自立した生活を送 れるよう、関係機関や相 だんし えん とも 談支援センターと共に、必 つよう そうだん し えん おこな 要な相談や支援を行える たいせい すす 体制づくりを進めます。	ひらかたし じりつ し えん きょうぎかい せんもん ぶんかかい せいしんしやうがいしや ちい き せいかつ し えん 枚方市 自立支援協議会の専門分科会として精神障害者地域生活支援 ぶかい せつち かんけい きかん きょうりよく ひらかたし かんないせいしん か びよういん しゃかい 部会を設置し、関係機関の協力のもと、枚方市管内精神科病院の社会 てきにゆういぬんじや たい ほうもんめんせつとう じっし ちい き いこう そくしん おこな 的入院患者に対し訪問面接等を実施し、地域以降の促進を行っています。	とうがいね んど ◎:当該年度に もくひようたっ おいては目標達 せい じぎょうけいぞくちゆう 成(事業継続中)	
	ふくしむしよ 福祉事務所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	ちいきていちやくし えん 地域定着支援	ちい きい こう ご 地域移行後や「ひきこも とう ちい き せつてん すく り」等、地域との接点が少 ない障害者に対し、地域 でいきいきと安定した生 いかつ いとな ほうもん 活を営めるよう訪問など なか ひつよう し えん する中で、必要な支援を ちい き しゃかいし げん かつよう 地域の社会資源を活用し ながら、関係機関と連携 すす し進めます。	あんしん ちい き せいかつ いとな かんけい きかん れんけい ひつよう じょうほうこうかん 安心して地域生活が営めるよう、関係機関と連携し、必要な情報交換 おこな おこな を行いながら支援を行っています。	とうがいね んど ◎:当該年度に もくひようたっ おいては目標達 せい じぎょうけいぞくちゆう 成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し ざく きほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	し ざく めい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合い	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(1) 相談・支援の充実	ふくしじむしよ 福祉事務 所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	ちいきせいかつしえんきよてん 地域生活支援拠 点の整備	そうだん ひとり ぐ 相談、一人暮らしやグ ループホーム等の体験の きかい ば きんきゆうじ うけい 機会の場、緊急時の受入 たいおうとう きのう ゆう れや対応等の機能を有し た地域生活支援拠点の せいび すず 整備を進めます。	ひらかたしじりつしえんきようぎかいかんじいかい つき かいゆいさい 枚方市自立支援協議会幹事会を月1回開催し、また枚方市自立支援 きようぎかいそうだんしえん ぶかい しやうがいふくしけいかく だいい き 協議会相談支援部会において、障害福祉計画(第6期)において、目標 れいわ ねんど ちいきせいかつしえんきよてんとう れいわ ねんどまつ を令和5年度までに地域生活支援拠点等について令和5年度末までの せつち しゅうせい ひ つづ けんとう おこな 設置と修正し、引き続き検討を行っています。	かだい △:課題があり、 もくひようたっせい む 目標達成に向け と く み て取り組みの見 なお とう ひつよう 直し等が必要	きんきゆうじ うけ 緊急時の受 いれとう 入等について たいせい の体制などに ついて引き続 ぎろん よう き議論を要す るため。福祉 いかく き 計画(6期)に もくひようせつ において目標設 てい みなお 定を見直しま した。
(2) 情報提供の推進	ふくしじむしよ 福祉事務 所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	たよう しゆほう 多様な手法による わかりやすい情報 ていきよう 提供	しやうがいしや ふくし せ 障害者の福祉サービス制 いどりよう そくしん 度利用を促進するため に、サービスの内容、手 づ ほうほうとう けいさい 続きの方法等を掲載した パンフレットやポスター、 こうほう 広報ひらかた、ホーム まどぐち たいおう ページ、窓口での対応な どによってわかりやすい じようほうていきよう つと 情報提供に努めます。	しやうがいしやてちよう こうふ さい しやうがいしや かか ふくしせいど てつづ ほうほう け 障害者手帳を交付する際、障害者に係る福祉制度や手続き方法を掲 いさい さつし ふくし まどぐち はいふ ないよう せつめい 載した冊子「福祉のてびき」を窓口で配布し、内容を説明しました。 し ないかくしよおよ しやうがいしやそうだんしえん しよ さつし せつ また、市内各支所及び障害者相談支援センター6か所への冊子の設 ち ひらかたし さつし けいさい 置や枚方市ホームページへの冊子データの掲載をすることにより、福 祉サービス制度の周知に努めました。	とうがいねんど ◎:当該年度に もくひようたつ おいては目標達 せい じぎやうけいぞくちゆう 成(事業継続中)	

2 権利擁護の推進

計画				令和2年度実績		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	取り組み内容	目標達成度合	達成度合理 理由
(1) 成年後見制度等	福祉事務所(健康福祉総合相談)	障害者の権利擁護と成年後見制度の利用援助の充実	知的障害者、精神障害者等の権利擁護を図るために、成年後見制度について、相談を受け援助できる体制を整備し、事業の充実に努めます。	成年後見制度申請時の書類作成の援助を行うとともに、11件の市長申し立てを行いました。	◎:当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	
	健康福祉総務課			障害者や認知症高齢者の権利擁護を図るため、令和3年から令和6年の4年間で計画期間とする「枚方市成年後見制度利用促進基本計画」を令和3(2021)年3月に策定しました。	◎:当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	
	福祉事務所(障害者福祉担当)			市長申し立てにより、後見制度を利用する生活保護等の低所得者が、成年後見制度を円滑に利用できるよう成年後見制度利用支援金交付事業を行っています。	◎:当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	
	福祉事務所(健康福祉総合相談)	権利擁護のための制度等の周知	成年後見制度や社会福祉協議会が実施している権利擁護のための取り組みについて障害のある人や家族への周知を図るとともに、広報、パンフレットの発行や窓口等における情報を提供します。	健康福祉総合相談窓口・各枚方市地域包括支援センターにて相談に対応し、必要に応じ関係機関の紹介、関係資料を配布しました。	◎:当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	
	健康福祉総務課			障害者や認知症高齢者の地域生活を支えるため、社会福祉協議会と連携し、福祉サービス利用援助事業の中で、成年後見制度や権利擁護のための取り組みについて周知を図りました。	◎:当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	
	福祉事務所(障害者福祉担当)			障害福祉担当では、成年後見制度に関するパンフレットを窓口を用意し、成年後見制度の情報を必要とされる市民に対し配布し、成年後見制度の仕組みや手続き等の情報提供を行いました。	◎:当該年度に おいては目標達成(事業継続中)	

けいかく 計画				れいわ ねんどじっせき 令和2年度実績		
し さく 基 策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	し さくめい 施策名	と く 取り組み	と く ないよう 取り組み内容	もくひようたっせいど あい 目標達成度合	たっせいど あいりゆ 達成度合理 う 由
(2) 虐待防止	ふくしじむしよ 福祉事務 所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	ぎやくたい たいおう 虐待への対応	しょうがいしや ぎやくたいぼうし 障害者への虐待防止の ため、障害者虐待防止セ ンターで、24時間365日体 制で相談・通報に対応し ます。関係機関と連携し、 虐待発見後の迅速、かつ 適切な対応を図ります。	へいせい ねん がつ しょうがいしやぎやくたいぼうし ほう しこう ひらかたし しょうがいしやぎやくたい 平成24年10月に障害者虐待防止法が施行され、枚方市障害者虐待 防止センターを設置しています。相談・通報の電話受けは24時間365日 で、その他市内6か所の障害者相談支援センターの協力を得て、受付 を行っています。また虐待の防止、迅速な対応のため、関係機関との 連携、情報共有の場として関係機関会議を年1回開催しています。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	
(3) 障害者差別 解消法の 対応	ふくしじむしよ 福祉事務 所(障害 いふくしたん 福祉担 とう 当)	しょうがいしやさべつかいしやう 障害者差別解消 法への対応	しょうがいしや たい さべつ か 障害者に対する差別の解 消に資する取り組みとし て、関係機関とネットワ ーク組織を構築し、情報の 収集および共有を図りま す。相談事案に対し、関 係機関や大阪府と連携 し、差別解消に向けた取 り組みを推進します。	しょうがいしや みちか ちい き しゅたいでき しょうがいしやさべつ かん そうだん ふ 障害者にとって身近な地域で主体的に障害者差別に関する相談や紛 争の防止、解決の取り組みをおこなうため、当事者、法曹、福祉・医療 従事者、行政職員などで構成する「枚方市障害者差別解消支援地域 協議会」については令和2年度も令和元年度に引き続き、新型コロナ ウイルス感染症対策のため延期となりましたが、月1回の幹事会にお いて、相談事案に対する検討や情報等の共有・収集を行いました。ま た、大阪府広域相談員との連携を図るなど、差別解消に向けた取り組 みを行いました。 令和3年3月 に手話でつむぐすみよいまち枚方市手話言語条例を制定、施行したこ とにより、合理的配慮の提供についての啓発を強化しました。	とうがいねんど ◎:当該年度に おいては目標達 成(事業継続中)	